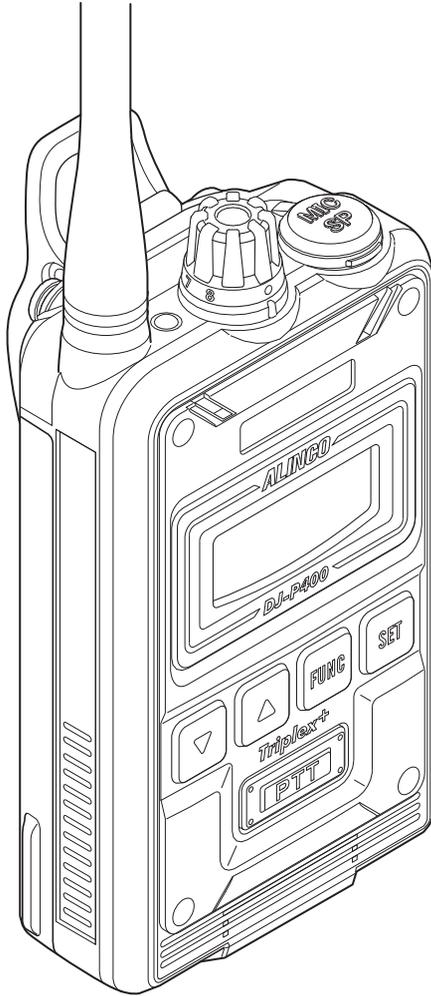


特定小電力ハンディトランシーバー  
総務省技術基準適合品  
Bluetooth Module XE1126内蔵

## DJ-P400

## 詳細取扱説明書



**注意** 本機を正しくお使いいただくためには別売の電源類（バッテリーパックまたは乾電池ケース）やオプション類（Bluetooth 対応または有線式イヤホン・イヤホンマイク・スピーカーマイク・ヘッドセット）が必要です。詳しくは付属取扱説明書の「オプション一覧」をお読みください。

アルインコの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本機は免許、資格が不要の特定小電力無線機器です。日本国内なら誰でも用途を問わず、各種通信にお使いいただけます。  
本機の性能を十分に発揮させるために、付属取扱説明書と合わせて最後までお読みいただくようお願いいたします。

1 基本操作	3
2 通信方法	5
通話モードの切替え	5
通話モード一覧	5
3 便利な機能	21
メモリーモード	21
キーロック	22
イヤホン断線検知	23
スキャン	23
ノイズキャンセラー	23
ACSH (アクシュ)	24
エアクローン	26
Bluetooth機能	27
リセット	29
4 セットモード	30
セットモード一覧	30
通話モード別機能表	31
セットモード基本操作	33
セットモード項目	34
5 イヤホンユーザー	48

## 重要 必ずお読みください。

- ・ここでは製品同梱の取扱説明書で記載しきれなかった通話モードやセットモードなどの内容を中心に詳しく説明します。反対に製品付属の取扱説明書で説明した別売品の使い方、電源のオンオフ、チャンネルの合わせ方などはここでは省略していません。必ず製品付属の取扱説明書と合わせてお読みください。
- ・本製品はスピーカーを内蔵していません。使用にはイヤホン、又はイヤホンマイク類の別売アクセサリが必要ですが、スピーカーマイクは同時通話時ハウリングが起こるため同時通話に特化した本機にはお勧めしません。  
(交互通話時はお使いになれます)
- ・また以下の場合にはスピーカーマイクでなくてもハウリングが起こる可能性があります。

狭い反響空間または閉鎖空間で使用する。  
本機とマイクの位置関係が近すぎる。  
受信音量を大きくしている。  
マイク感度を大きくしている。

ハウリングが起きたら設置場所を見直すことや、受信音量・マイク音量を調整してみてください。

# 1

## 基本操作

### ■ 各部と名前のはたらき

**前面部** ※オプション類を接続すると本機側のPTTキーとマイクは自動で無効になります。後述のセットモード (P.30) で選べるオプションPTT設定でこの動作を変えることもできます。

#### ランプ

青色点灯：待受中  
緑色点灯：受信  
赤色点灯：送信中  
青色点滅：減電池

#### マイク

送信するときに話します。  
※ラベルなどでふさがなくてください。声を拾わなくなります。

#### ▼(ダウン)キー

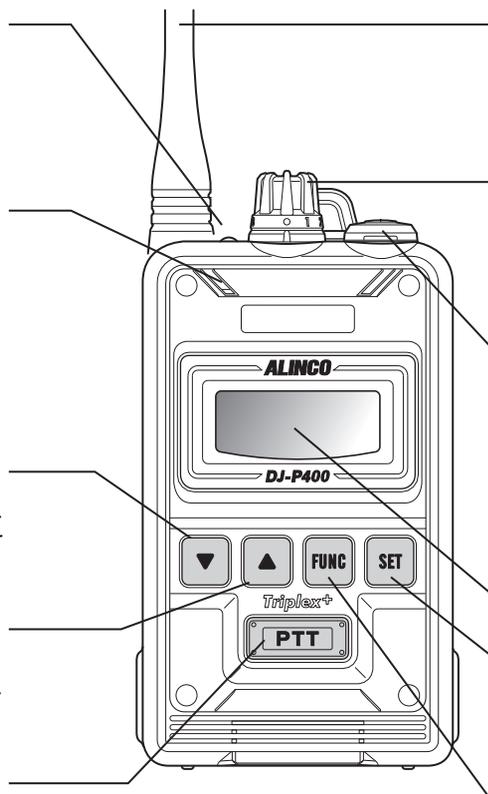
降順にチャンネル変更するときに押します。

#### ▲(アップ)キー

昇順にチャンネル変更するときに押します。

#### PTT(送信)キー

押すと送信します。再度押すと待受けに戻ります。設定を変えると押し続けている間だけ送信できます。



#### アンテナ

アンテナは外れません。柔らかい素材なので多少曲がります。

#### 電源/音量ツマミ

※少しずつ音量を上げて適切な音になるように調整してください。

#### 有線式オプション端子

別売有線式オプションを接続することができます。  
※接続するにはしっかりと奥までねじ込んでください。

#### ディスプレイ

#### SETキー

個体番号やグループトークの設定/解除ができます。

#### FUNCキー

長押しでキーロック設定/解除ができます。

### ■ 受信する

信号を受信すると、受信した信号レベルに応じてディスプレイに「受」が表示され、受信条件を満たしているとき音声が聞こえるようになります。本機には受信終了時に聞こえる「ザッ」音を低減するテールノイズキャンセラーを採用しています。本機能を採用した弊社製の無線機との通話に対応しています。



**重要** 下記のような、インバーター内蔵の電気製品は受信障害の原因になることがあります。  
\*LED 照明 \*IH 式調理器具 \*ソーラー発電装置 \*DC-AC インバーターなどの車載機器

## ■ 送信する

同時通話では「PTTホールド」(P.36)が自動的に設定されます。「PTT」キーを押し、ディスプレイに「送」が表示されたらマイクに向かって話します。マイクと口は5cmほど離してください。送信解除する際は再度「PTT」キーを1秒以上長押しすると待受に戻ります。



- 重要**
- ・ オプション類を接続すると、本機側のPTTキーとマイクは自動で無効になります。後述のセットモード「オプションPTT設定」(P.30, P.33, P.45)でこの動作を変更することができます。
  - ・ 送信解除の条件は、後述のセットモード「PTTホールド」(P.30, P.33, P.36)で変更することができます。
  - ・ マイクに向かって話すとき、声が大きすぎたり口元が近すぎたりすると、送信音が歪み(ひずみ)ますのでご注意ください。

## ■ コールトーン

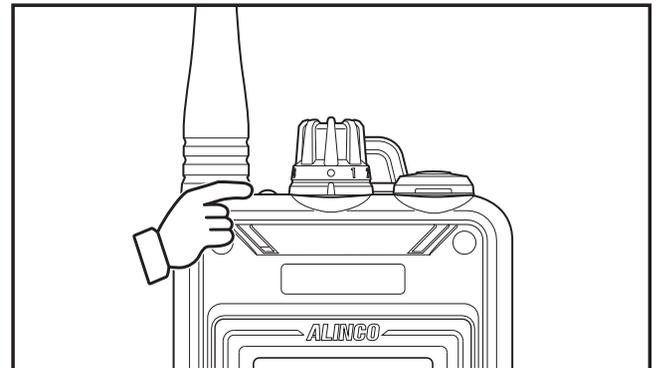
送信中に「▼」キーまたは「▲」キーを押すと、受信側でも音色の異なる呼出音が鳴り相手の注意を引くことができます。

## ■ ランプ

ランプは本機上部にあります。基本的なランプの色は以下3色となります。

- ・ 待受：青色点灯
- ・ 受信：緑色点灯
- ・ 送信：赤色点灯

後述の説明では通信に関わるランプの色は一部省略します。ランプの色は部品の個体差から、色が異なって見えることがありますが、異常ではありません。



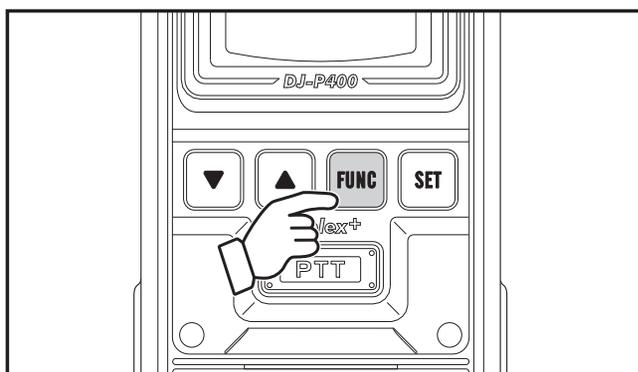
# 2 通信方法

## ..... 通話モードの切替え .....

工場出荷状態ではモード3の3者間同時通話に設定されています。通話モードの切替えについて説明します。

### ① [FUNC] キーを押す

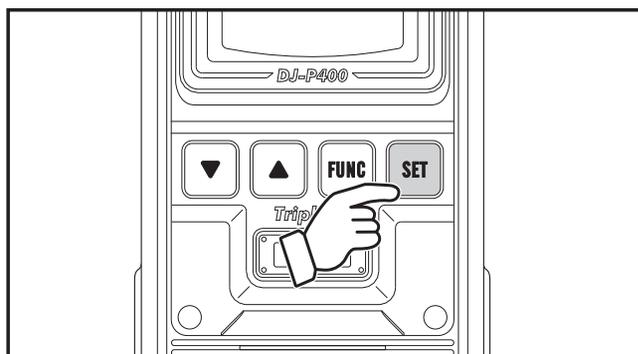
「FUNC」キーを押すと左側にメモリー番号が点滅します。



### ② [SET] キーを押す

通話番号が点滅するので使用するモードの番号を「▼/▲」キーで選択し「PTT」キーを押して確定します。

設定が終わったら、電源ツマミのダイヤルが時計方向に適度に回され、音量調整が正しくできていることを確認してください。



## ..... 通話モード一覧 .....

工場出荷状態ではモード3の3者間同時通話に設定されています。

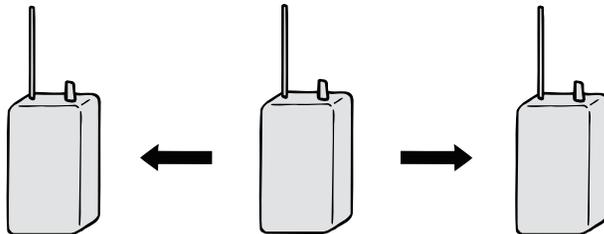
通話モード	チャンネル	通話番号
交互通話	L01 ~ L09、b01 ~ b11 (20CH)	1
2者間同時通話	L10 ~ L18、b12 ~ b29 (27CH)	2
3者間同時通話 (初期値)	A ~ H (8CH)	3
4者間同時通話	A ~ H (8CH)	4
複信中継子機	L10 ~ L18、b12 ~ b29 (27CH)	5
連続交互通話	A ~ H (8CH)	6
連続2者間同時通話	A ~ H (8CH)	7
7-チャンネル2者間同時通話	L10 ~ L18、b12 ~ b29 (27CH)	8
7-チャンネル3者間同時通話	A ~ H (8CH)	9
デュアルオペレーション	L01 ~ L09、b01 ~ b11 (20CH)	10

\*

## ■ 交互通話（通話番号 1）

一人が話す音声を残り全員が受信します。話し終わったら任意の人が応答します。電波が届くところにいる人は人数に制限なく通話できます。無線機で一番基本の通話で、大勢でてきぱきと連絡を取り合うのに最適です。

チャンネル：L01～L09、b01～b11



- ① 「PTT」キーを押し続けます。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。最適な受信音声になるよう音量や口とマイクの距離、向きを調節します。
- ② 話し終わったら「PTT」キーを放します。マークが消え、待受に戻ります。



## □ グループトーク機能

交互通話・2者間同時通話・デュアルオペレーション専用の機能です。他のグループの混信が聞こえず、一部のノイズを消す効果もあるので使用をお勧めする機能です。01と50番は多用されているので別の番号を選ぶ方が効果的です。他社製や長年お使いの個体が混じるときは相性による通話不良を避けるため、02～36番からお選びください。全員の無線機に同じ番号を設定します。



### ● 交互通話

- ① 待受で「SET」キーを押すとグループ番号を表示します。
- ② グループ番号の変更は「FUNC」キーを押しながら素早く「▼」キーまたは「▲」キー押しで操作します。

### ● 2者間同時通話

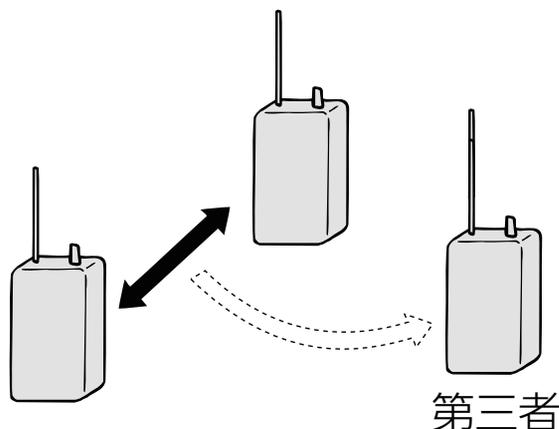
この通話モードでは自動的にグループ番号が表示されます。グループトーク機能をオフにすることはできません。グループ番号の変更は交互通話と同じです。

**注意** 他人の声を聞かなくて済むだけで、混信除去や秘話機能ではありません。同じチャンネルでグループ機能を使っていない人には通話は全て受信されます。

## ■ 2者間同時通話（通話番号 2）

電話のように2人だけで通話できるモードです。あらかじめグループトーク機能が設定されています。基本的には1対1の通話ですが、後述のセットモード「音声ループ」（P.30, P.33, P.34）を設定することで第三者も通話を聞くことができます。また通話には「PTT」（初期値）と「電話」タイプがあります。初期設定では「PTTホールド」（P.36）が有効となります。

チャンネル：L10～L18、b12～b29



### ● PTTタイプ

- ① 待受で1人目が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
- ② 音声受信を確認した2人目も「PTT」キーを押して送信します。2人とも「送受」が表示されお互いに通話確認します。



### ● 電話タイプ

電話のように呼出/応答の手順で通話します。お互い電話タイプに設定してください。

- ① 「FUNC」キーを押します。続けて「SET」キーを押して通話番号を点滅させます。その後「SET」キーを長押しすると電話マークが表示します。
- ② 待受で1人目が「PTT」キーを押します。10秒間呼出音が鳴ります。
- ③ 呼出音を確認した2人目も「PTT」キーを押して送信します。お互いに通話確認します。



参考

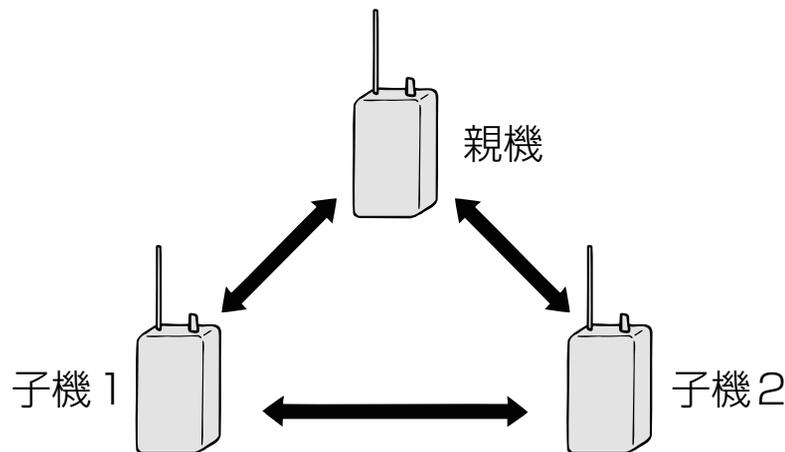
- ・通話中に第三者が割り込むことはできません。
- ・初期設定はLチャンネルが3分に一度2秒タイムアウト、bチャンネルはタイムアウト制限がない連続通話ができます。
- ・電話タイプでは呼出/応答の手順のため、初期設定ではLチャンネルの3分が通信制限となりその後自動的に通話が終了します。再度通話するには「PTT」キー操作で呼出/応答の手順で通話してください。

## ■ 3者間同時通話（通話番号 3）

初めて本機の電源を入れたときのモードで、3人の同時通話ができます。グループトークについてはあらかじめ最適なものがプリセットされています。初期設定ではタイムアウト制限がない連続送信ができ、PTTホールド（P.36）、コンパnder（P.34）が有効となります。親機、子機1、子機2の順に通話確認しながら操作します。

- ・ 3人の位置関係や、4人以上で使用者が入れ替わったり受信だけのユーザーがいる場合に制限があります。必ず次ページのイラストを参照してください。
- ・ 狭い反響空間ではハウリングが起きて使えないことがあります。製品の仕様です。
- ・ トンネルや地下通路のような閉鎖空間では電波伝搬上の理由で通話できないことがあります。
- ・ このモードはユーザーが必ず3人必要です。
- ・ 通話中、親機がグループを抜けると、子機1・子機2の通話も途切れます。
- ・ 子機1または2がグループを抜けても通話は続きます。
- ・ このモードではコンパnderを有効（3人全員）のままお使いください。
- ・ 親機送信時（受信なし）のみ自動的にコールバック（P.37）が動作します。

チャンネル：A～H



- ① 待受で親機（1人目）が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。通信成立後、子機表示が消えます。
- ② 音声受信を確認した子機1（2人目）も「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
- ③ 音声受信を確認した子機2（3人目）も「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。お互いに通話確認します。



\*全員に「送受」が表示され、親機から「子機」表示が消えたら通話成立

### ● 個体番号

あらかじめ3人全員が個体番号を設定して親機、子機1、子機2の関係を固定することもできます。設定後は上記の順番に関係なく送信できます。

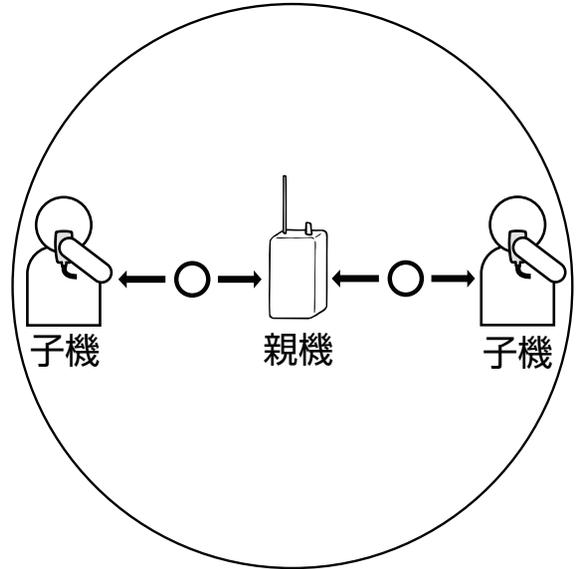
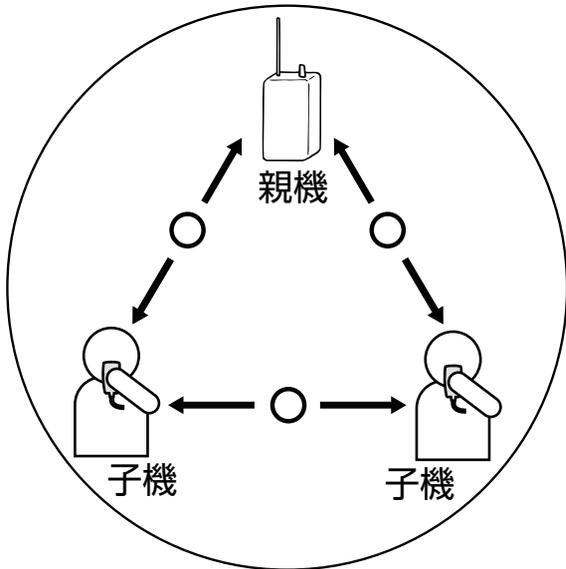
- ① 待受で「SET」キーを1秒以上押して放すと個体番号を表示します。  
個体番号：1（親機）2（子機1）3（子機2）
- ② 個体番号の変更は「FUNC」キーを押しながら素早く「▼」キーまたは「▲」キー押しで操作します。



**注意** それぞれで送信するタイミングが重なる場合、正しく通信できない場合があります。全員が待受状態から続けて2秒以上待ってから、それぞれタイミングをずらして送信してください。

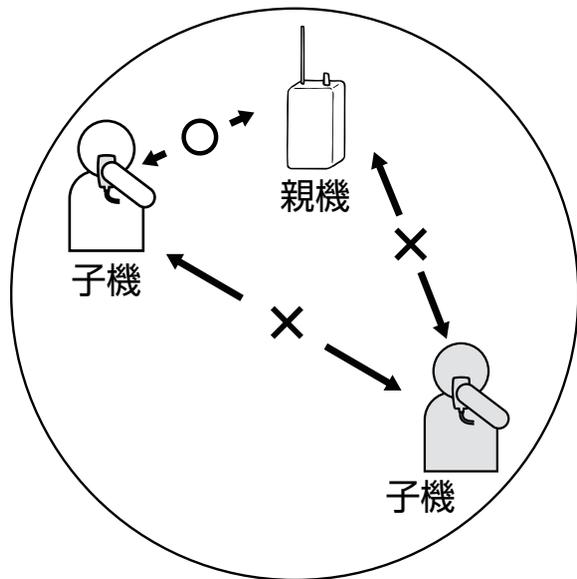
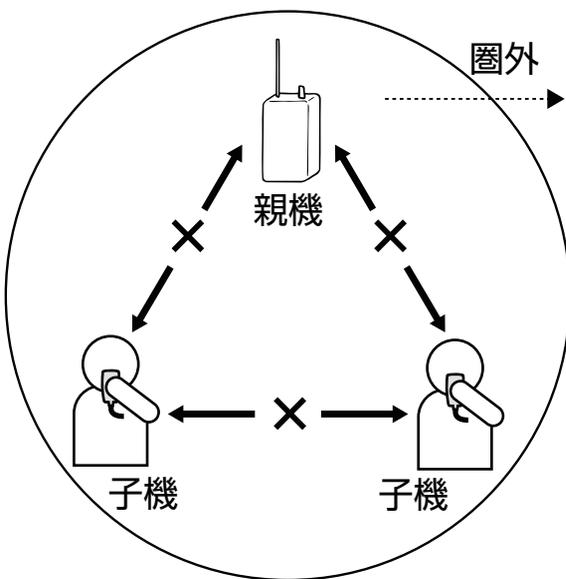
● **正しい位置関係**

お互いに10m以上の間隔で離れて通信エリア（円）の内側で通話します。移動するときもお互いの間隔をとることを心がけます。



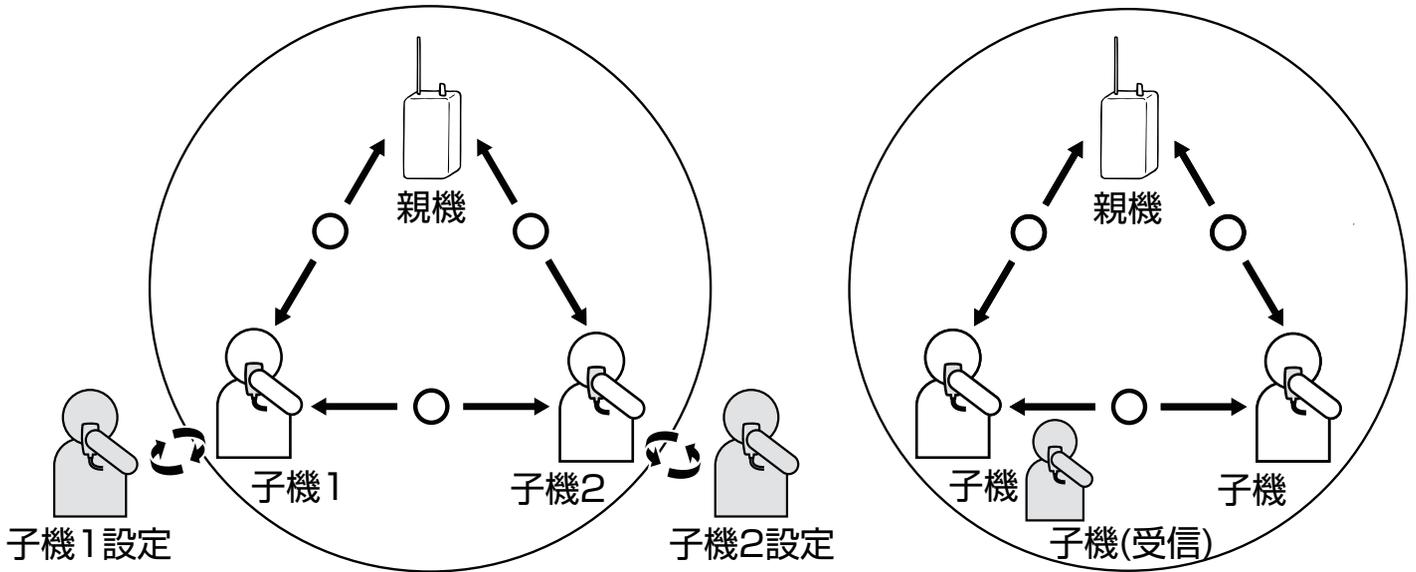
● **通信できなくなる位置関係**

親機が通話エリアから外れたり、電源を切ると全員が通話できなくなります。親機または子機が極端に他の人に近づくと、通話が途切れやすくなります。



● 4名以上のグループで使用者が入れ替わる / 受信のみのユーザー

同じ設定をした子機は入れ替わることができます。通信が成立しているときに子機1は「PTT」キーを約1秒間長押しして待受にします。次に子機1設定の「PTT」キーを押して送信します。それぞれで通話できるか確認します。子機2についても同様です。受信のみであれば、通話エリア内でチャンネルを合わせれば人数に関係なく通話が聞こえます。

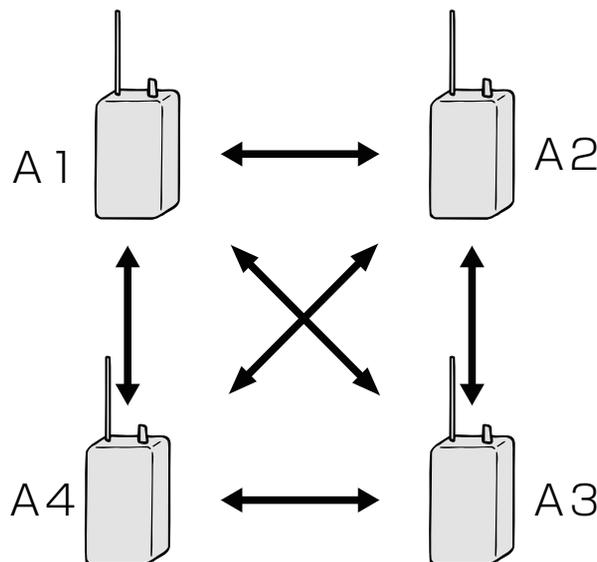


■ 4者間同時通話（通話番号 4）

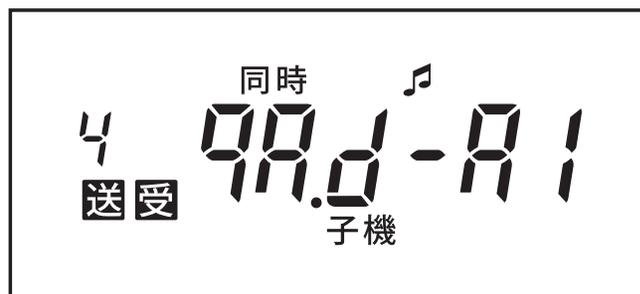
4人で同時通話できるモードです。専用の中継器などは不要ですが、使用前に後述の説明にある個体番号の設定が必要となります。グループトークについてはあらかじめ最適なものがプリセットされています。初期設定ではタイムアウト制限がない連続送信ができ、PTTホールド（P.36）、コンパnder（P.34）が有効となります。

- ・5人以上で使用者が入れ替わったり受信だけのユーザーがいる場合に制限があります。必ず次ページのイラストを参照してください。
- ・狭い反響空間ではハウリングが起きて使えないことがあります。製品の仕様です。
- ・トンネルや地下通路のような閉鎖空間では電波伝搬上の理由で通話できないことがあります。
- ・このモードはユーザーが必ず4人必要です。
- ・通話中、誰かが一人でも抜けると他の人の通話が途切れます。
- ・このモードではコンパnderを有効（4人全員）のままお使いください。

チャンネル：A～H



- ① 個体番号の変更は「FUCN」キーを押しながら素早く「▼」キーまたは「▲」キー押しで操作します。
- ② 待受で1人目（A1）が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
- ③ 待受で2人目（A2）が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
- ④ 待受で3人目（A3）が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
- ⑤ 待受で4人目（A4）が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。お互いに通話確認します。



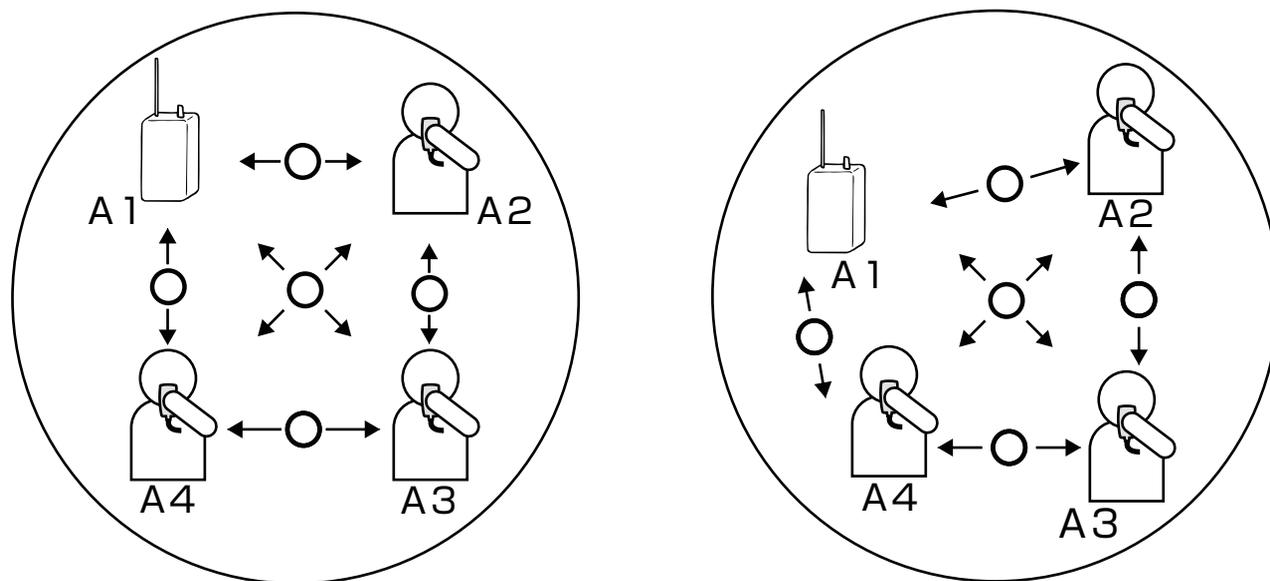
\*4者間同時通話の「qAd」表記はクアドラプル（quadruple）の略です

**注意** それぞれで送信するタイミングが重なる場合、正しく通信できない場合があります。全員が待受状態から続けて2秒以上待ってから、それぞれタイミングをずらして送信してください。

## ● 正しい位置関係

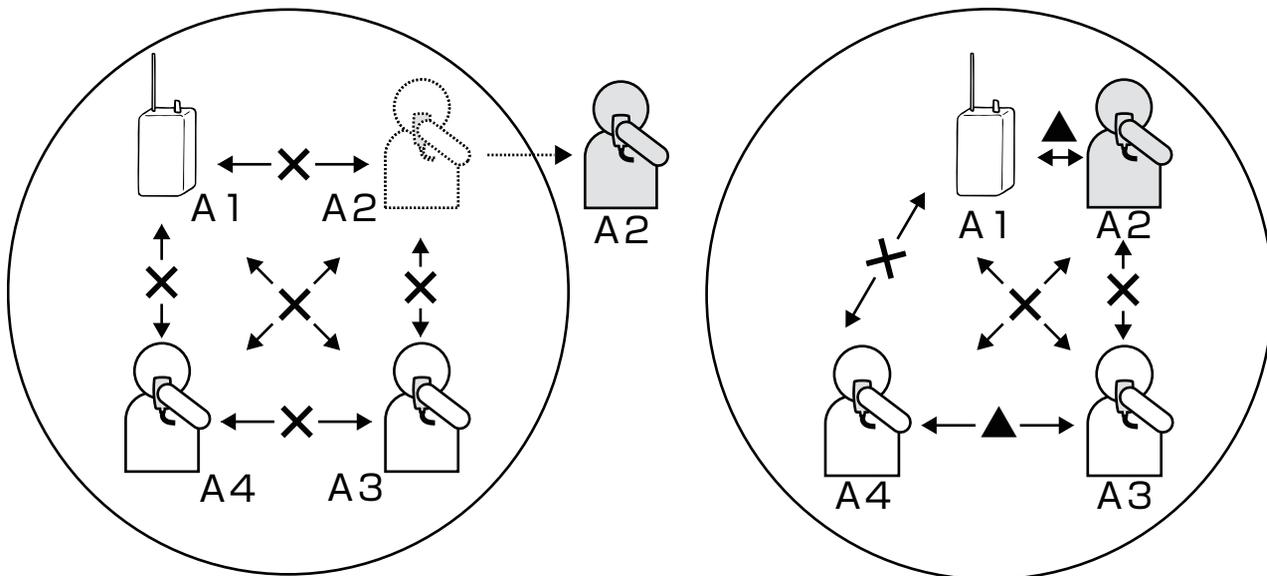
お互いに10m以上の間隔で離れて通信エリア（円）の内側で通話します。

移動するときもお互いの間隔をとることを心がけます。また通話エリア内であっても線状には並ばないでください。



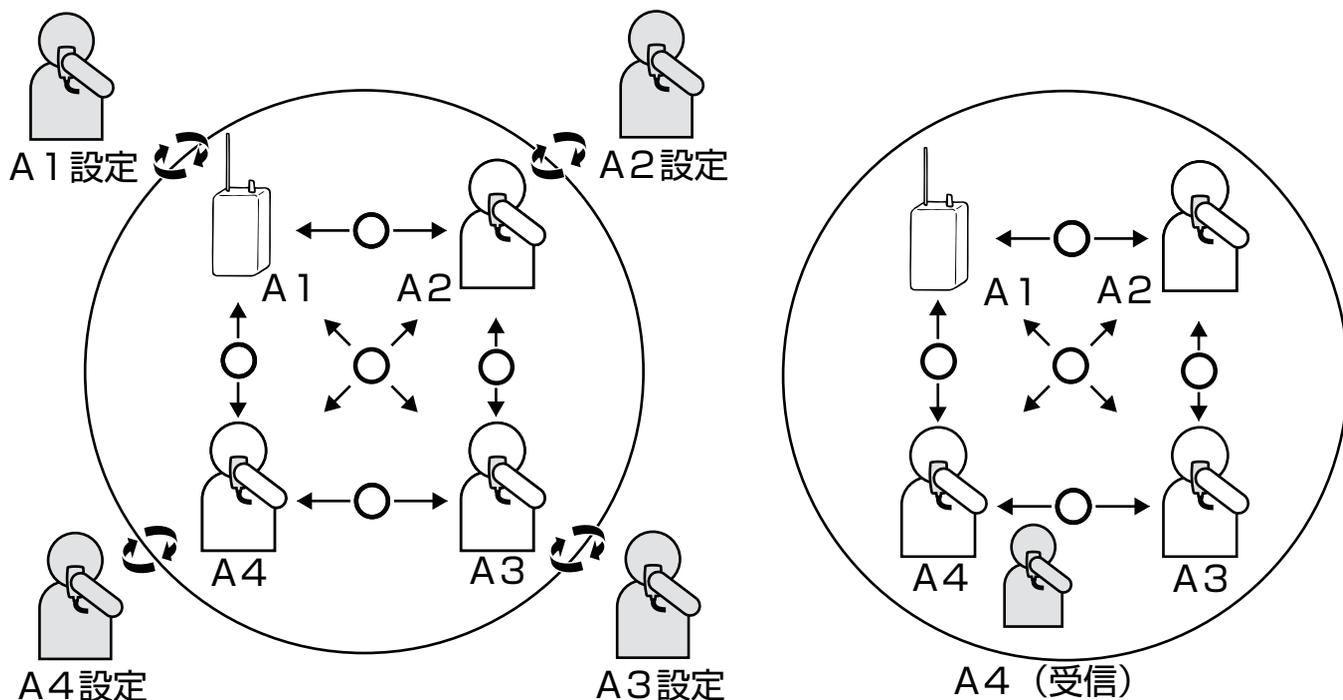
● 通信できなくなる位置関係

1人でも通話エリアから抜けるか電源をオフにすると、全員の通話ができなくなります。  
 1人が極端に近づく場合、例えばA1がA2に近づくるとA3、A4との通話ができなくなります。  
 またA1-A2間とA3-A4間の受信音声小さくなります。



● 5名以上のグループで使用者が入れ替わる / 受信のみのユーザー

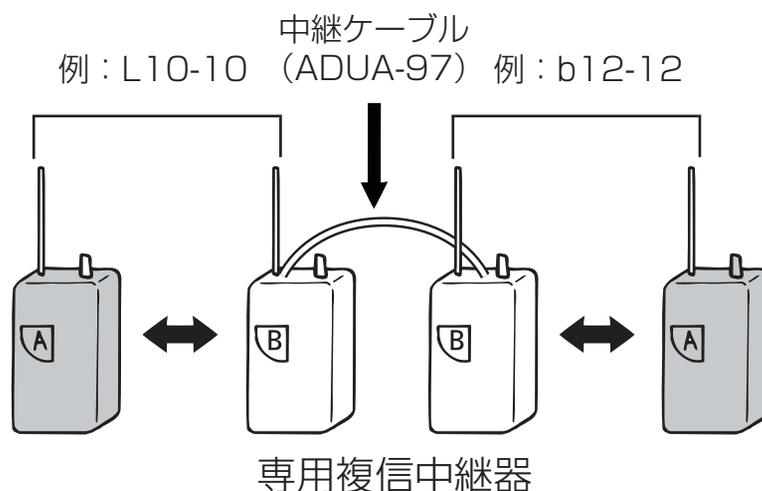
同じ設定をした子機は入れ替わることができます。通信が成立しているときにA4は「PTT」キーを約1秒間長押しして待受にします。次にA4設定の「PTT」キーを押して送信します。それぞれで通話できるか確認します。A1~A3についても同様です。受信のみであれば、通話エリア内でチャンネルを合わせれば人数に関係なく通話が聞こえます。



## ■ 複信中継子機通話（通話番号 5）

直接では電波が届かない相手と中継器を介して同時通話するモードです。後述のセットモード「音声ループ」（P.30, P.33, P.34）を設定することで第三者も通話を聞くことができます。また通話には「PTT」（初期値）と「電話」タイプがあります。初期設定ではPTTホールド（P.36）が有効となります。このモードで通話するには必ず専用複信中継器が必要です。

チャンネル：L10～L18、b12～b29



### ● PTTタイプ

交互通話のようにお互いの「PTT」キーを押して送信する通話です。専用中継器 B 帯として説明します。

- ① 待受で1人目が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
- ② 音声受信を確認した2人目も「PTT」キーを押して送信します。お互いに通話確認します。



### ● 電話タイプ

電話のように呼出/応答の手順で通話します。お互い電話タイプに設定してください。

- ① 「FUNC」キーを押します。続けて「SET」キーを押して通話番号を点滅させます。その後「SET」キーを長押しすると電話マークが表示します。
- ② 待受で1人目が「PTT」キーを押します。10秒間呼出音が鳴ります。
- ③ 呼出音を確認した2人目も「PTT」キーを押して送信します。お互いに通話確認します。



#### 参考

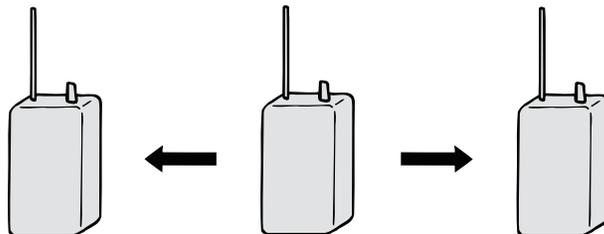
- ・周波数をB帯に変更する場合、通話番号を点滅させた後「FUNC」キーを長押ししてください。
- ・通話中に第三者が割り込むことはできません。
- ・初期設定はLチャンネルが3分に一度2秒タイムアウト、bチャンネルはタイムアウト制限がない連続通話ができます。
- ・電話タイプでは呼出/応答の手順のため、初期設定ではLチャンネルの3分が通信制限となりその後自動的に通話が終了します。再度通話するには「PTT」キー操作で呼出/応答の手順で通話してください。

## ■ 連続交互通話（通話番号 6）

チャンネルがA～Hあり各チャンネルに、二つの周波数がプリセットされています。連続通話時に、自動的にもう一方の周波数に切り替えて送信休止時間（2秒）を短縮するモードです。通常は同じチャンネルで連続送信をすると3分ごとに2秒間送信を中断しますが、本モードでは、時間前に自動的に周波数を切り替えることで通話を継続します。もう一方の周波数が使用されていないことを確認するため、3分ごとに約0.5秒間通話が中断します。切替えた側の周波数が使用されている場合は、連続送信ができません。

本モードは電波法や標準規格を順守した上での疑似的なものであり、対応する弊社製の機器間でのみ有効です。グループトーク機能はあらかじめ最適なものがプリセットされています。

チャンネル：A～H



- ① 「PTT」キーを押し続けます。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。最適な受信音声になるよう音量や口とマイクの距離、向きを調節します。
- ② 話し終わったら「PTT」キーを放します。マークが消え、待受に戻ります。



参考

初期設定はタイムアウト制限がありますが、送信出力を Lo にすることで制限がない連続通話ができます。

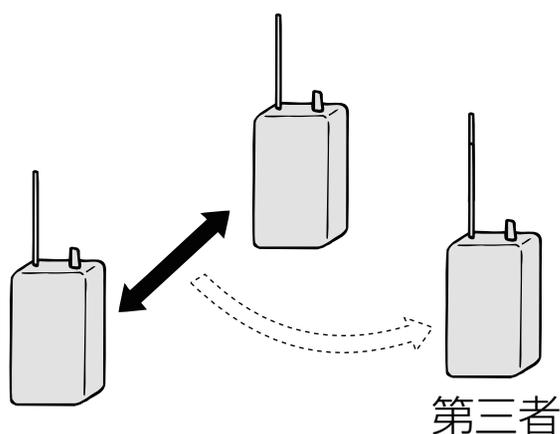
## ■ 連続2者間同時通話（通話番号 7）

チャンネルがA～Hあり各チャンネルに、二つの周波数がプリセットされています。連続通話時に、自動的にもう一方の周波数に切り替えて送信休止時間（2秒）を短縮するモードです。通常は同じチャンネルで連続送信をすると3分ごとに2秒間送信を中断しますが、本モードでは、時間前に自動的に周波数を切り替えることで通話を継続します。もう一方の周波数が使用されていないことを確認するため、3分ごとに約0.5秒間通話が中断します。

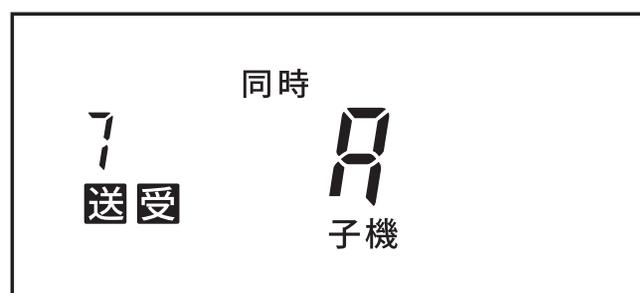
切替えた側の周波数が使用されている場合は、連続送信ができません。

本モードは電波法や標準規格を順守した上での疑似的なものであり、対応する弊社製の機器間でのみ有効です。グルーブトーク機能はあらかじめ最適なものがプリセットされています。基本的には1対1の通話ですが、後述のセットモード「音声ループ」（P.30, P.33, P.34）を設定することで第三者も通話を聞くことができます。初期設定ではPTTホールド（P.36）が有効となります。

チャンネル：A～H



- ① 待受で1人目が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
- ② 音声受信を確認した2人目も「PTT」キーを押して送信します。お互いに通話確認します。



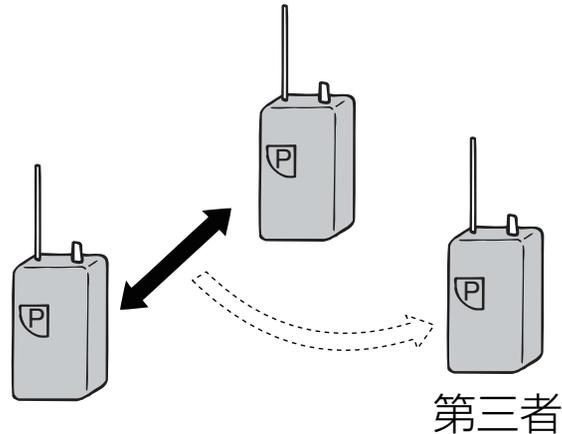
参考

- ・通話中に第三者が割り込むことはできません。
- ・初期設定はタイムアウト制限がありますが、送信出力を Lo にすることで制限がない連続通話ができます。

## ■ フリーチャンネル2者間同時通話（通話番号 8）

あらかじめペア接続した2台が自動的に空きチャンネルを探し同時通話するモードです。お使いになる前にペア接続してください。一度接続しておけば以降はチャンネル設定や変更の手間が省けます。グループトーク機能は接続時に最適なものがプリセットされています。基本的には1対1の通話ですが、後述のセットモード「音声ループ」（P.30, P.33, P.34）を設定することで第三者も通話を聞くことができます。初期設定ではPTTホールド（P.36）が有効となります。「送信出力」（P.36）を送信・受信側で同じ設定にしてください。

チャンネル：L10～L18、b12～b29（自動選択）



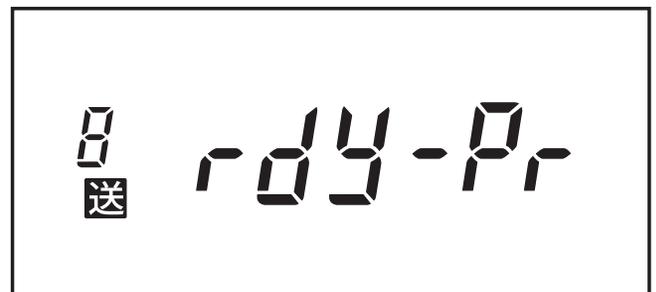
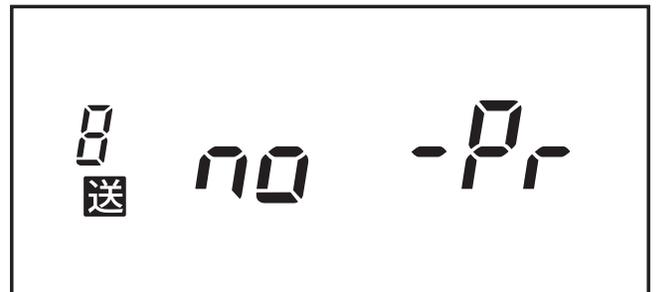
### ● ペア接続

ペア接続されていないと「no - Pr」と表示されます。この状態で次の手順をすることでペア接続できます。

- ① 待受で1人目が「PTT」キーを約2秒間押し続けます。送信マークが表示された後に「rdy - Pr」が表示され準備状態になります。
- ② 受信を確認した2人目も準備状態から「PTT」キーを約2秒間押し続けて送信します。
- ③ 通信が成立すると「now - Pr」と表示されて接続が開始され、完了すると自動的に再起動します。再起動後「SCn ○○」が表示されます。

ペア番号は00～99までが自動的に割り当てられます。接続が完了するとお互いの機器に同じペア番号が表示されます。

**注意** ペアは1組のみ設定ができ、2組以上は設定できません。



## ● 通信方法

- ① 待受で1人目が「PTT」キーを押します。  
空きチャンネルを見つけると送信マークが表示されるので、マイクに向かって話します。
- ② 音声受信を確認した2人目も「PTT」キーを押して送信します。お互いに通話確認します。



### 参考

- ・通話の開始と応答はチャンネルをスキャンして空きチャンネルを探しているため、通常の通話より通話開始時の頭切れ時間が長くなります。
- ・通話中に第三者が割り込むことはできません。
- ・送信出力の設定でスキャン範囲やパワーを変更できます。

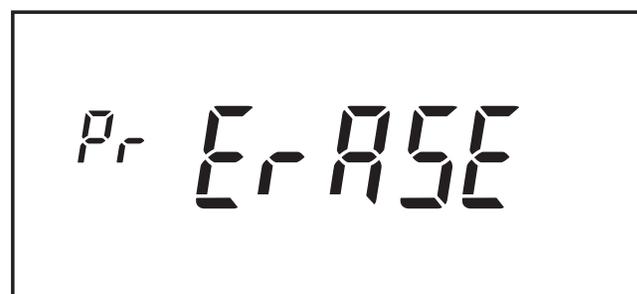
設定値	スキャン範囲	送信出力
Pow-At	L10 ~ L18、b12 ~ b29 (27CH)	10mW
Pow-Hi	L10 ~ L18 (9 CH)	10mW
Pow-Lo	b12 ~ b29 (18CH)	1mW

\* ペア接続後の初期化については、下記をお読みください。

## ● ペア番号初期化

ペア番号を変更したい場合、以下の手順で初期化してください。初期化後は再度ペア接続してください。

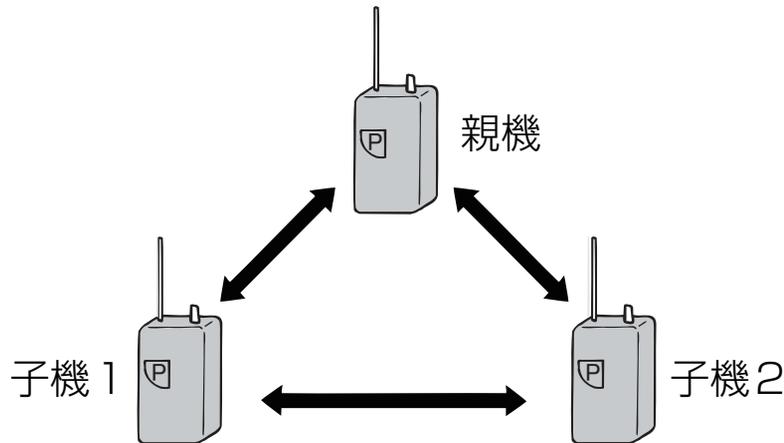
- ① 「FUNC」キーを押します。続けて「SET」キーを押して通話番号を点滅させます。その後「FUNC」キーを長押しすると初期化します。「Pr Erase」が表示され再起動します。



## ■ フリーチャンネル3者間同時通話（通話番号 9）

あらかじめペア接続をした3台が自動的に空きチャンネルを探し同時通話するモードです。お使いになる前にペア接続してください。一度接続しておけば以降はチャンネル設定や変更の手間が省けます。グループトーク機能は接続時に最適なものがプリセットされています。通信条件や通信範囲については通常の3者間同時通話と同じです。初期設定ではPTTホールド（P.36）、コンパnder（P.34）が有効となります。

チャンネル：A～H（自動選択）



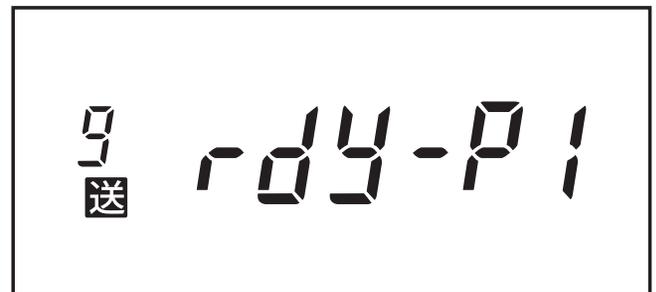
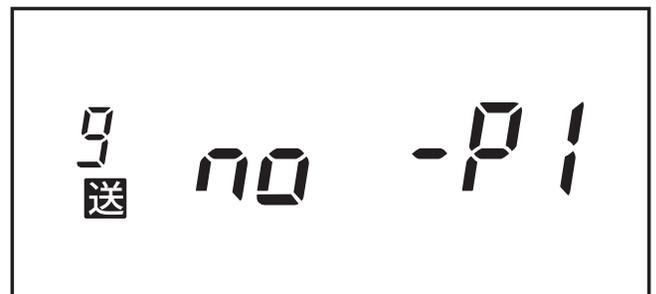
### ● ペア接続

ペア接続されていないと「no - P1」と表示されます。この状態で次の手順をすることでペア接続できます。

- ① 待受で「▼」キーまたは「▲」キーを押して接続番号を設定します。  
接続番号：1（親機）、2（子機1）、3（子機2）
- ② 接続番号（1 / 2 / 3）を設定後、親機の「PTT」キーを約2秒間押し続けます。  
送信マークが表示された後に「rdy - P1」準備状態になります。
- ③ 受信を確認した子機1、子機2は自動的に「rdy - P2」「rdy - P3」が表示され準備状態になります。
- ④ 通信が成立すると親機、子機ともに「now - P\*」接続が開始され、完了すると自動的に再起動します。再起動後、「SCn ○○」が表示されます。

ペア番号は00～25までが自動的に割り当てられます。ペアリングが完了するとお互いの機器に同じペア番号が表示されます。

**注意** ペア接続は3台・1組でおこなってください。2組以上で接続すると正しく接続できません。



## ● 通信方法

- ① 待受で親機（1人目）が「PTT」キーを押します。空きチャンネルを見つけると送信マークが表示されるので、マイクに向かって話します。通信成立後、子機表示が消えます。
- ② 音声受信を確認した子機1（2人目）も「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
- ③ 音声受信を確認した子機2（3人目）も「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。お互いに通話確認します。



参考

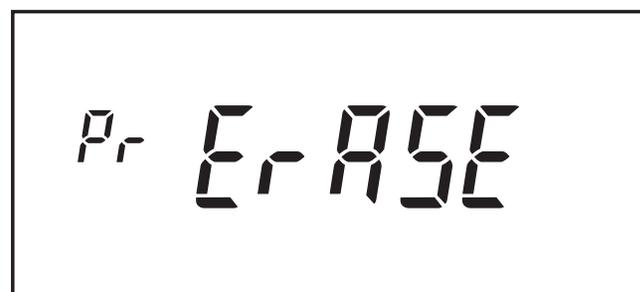
- ・通話の開始と応答はチャンネルをスキャンして空きチャンネルを探しているため、通常の通話より通話開始時の頭切れ時間が長くなります。
- ・通話中に第三者が割り込むことはできません。

\* ペア接続後の初期化については、下記をお読みください。

## ● ペア番号初期化

ペア番号を変更したい場合、以下の手順で初期化してください。初期化後は再度ペア接続してください。

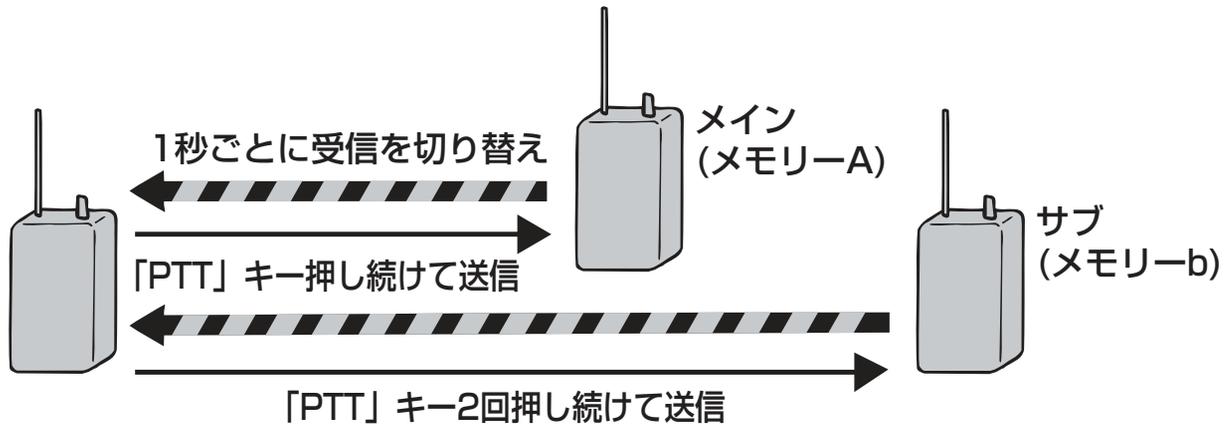
- ① 「FUNC」キーを押します。続けて「SET」キーを押して通話番号を点滅させます。その後「FUNC」キーを長押しすると初期化します。「Pr Erase」が表示され再起動します。



## ■ デュアルオペレーション（通話番号 10）

あらかじめメモリー登録したメイン/サブの 2つのチャンネルを交互に受信し、そのどちらとも通話できるモードです。使用前にメモリーA/bの登録が必要です。登録できる通話モードは交互通話（通話番号 1）です。登録方法については、次ページのメモリーモードをお読みください。

チャンネル：L01～L09、b01～b11（登録）



### ● 送信（M:メイン/S:サブ）

M 「PTT」キーを押し続けます。送信マークと mainが表示されたらマイクに向かって話します。

S 「PTT」キーを2回続けて押し続けます。送信マークと subが表示されたらマイクに向かって話します。

話し終わったら「PTT」キーを放します。マークが消え、待受に戻ります。話し終わって約5秒間はメイン側を保持します。

その後1秒間隔でメイン/サブを切替えます。

### ● 受信（M:メイン/S:サブ）

M 受信するとmainが表示され「ピッ」音が鳴ります。

S 受信するとsubが表示され「ピピッ」音が鳴ります。



参考

- ・ main/subが表示された後は続けて登録チャンネルが表示されます。
- ・ 受信を交互に切替える仕様上、バッテリーセーブが強制的にオフになりバッテリー消費が大きくなります。

# 3

## 便利な機能

### ..... メモリーモード .....

あらかじめ登録しておいたチャンネルを呼び出して通信するモードです。  
登録数は、0～9、A、bの12個です。（A、bは交互通話専用です）  
A、bに登録した内容はデュアルオペレーションで使用します。  
またメモリーモード中はセットモード（P.30）の設定変更ができません。

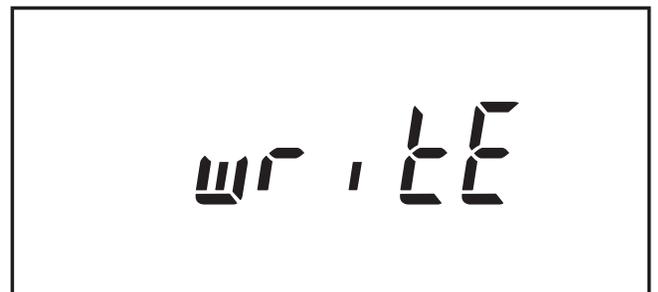
#### ● メモリー登録

- ① 登録する通話モード、チャンネルを選択します。
- ② 待受で「FUNC」キーを押すとメモリー番号が点滅します。
- ③ 続けて「▼」キーまたは「▲」キーで登録する番号を選択します。
- ③ 選択後「SET」キーを約2秒間長押ししてメモリー登録します。  
正常に登録されるとwriteが表示されます。



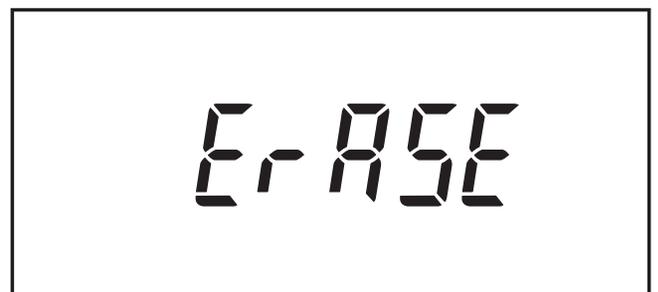
#### ● メモリーモード

- ① 待受で「SET」キーを約2秒間長押しするとメモリー番号が点灯しメモリーモードになります。
- ② 複数登録していると「▼」キーまたは「▲」キーで登録したメモリー番号を切替えます。
- ③ メモリーモードを解除する場合、「SET」キーを約2秒間長押しします。



#### ● メモリー消去

- ① 待受で「FUNC」キーを押すとメモリー番号が点灯します。
- ② 続けて「FUNC」キーを約2秒間長押ししてメモリー削除します。正常に削除されるとEraseが表示されます。



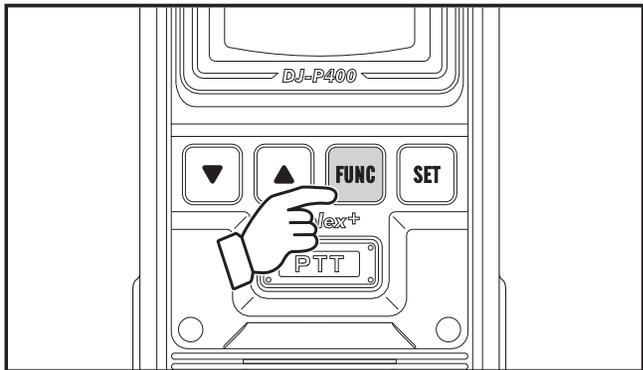
#### 参考

- ・すでにメモリー登録されているとメモリー番号が点灯します。（Mは点滅）
- ・メモリー登録は上書き仕様となります。
- ・メモリーモード中に「SET」キーを押すと約2秒間通話モードが表示します。後述のセットモード「メモリー表示」（P.30, P.33, P.39）でこの動作を変更することができます。

# ..... キーロック .....

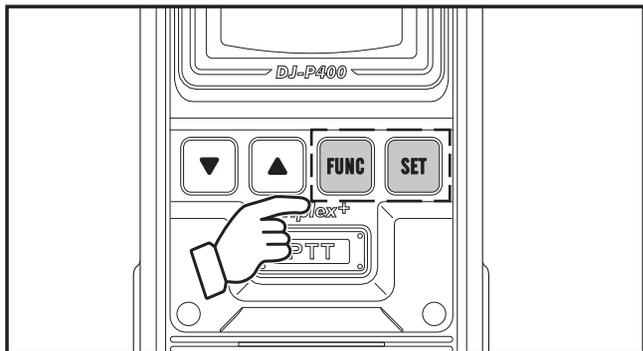
## ■ 簡易キーロック

待受で「FUNC」キーを長押しします。  
「Loc - 1」が点滅後「**0**」が点灯します。  
同じ操作で解除できます。



## ■ 通常キーロック

待受で「FUNC」キーと「SET」キーを同時に長押しします。「Loc - 2」が点滅後「**0**」が点灯します。同じ操作で解除できます。

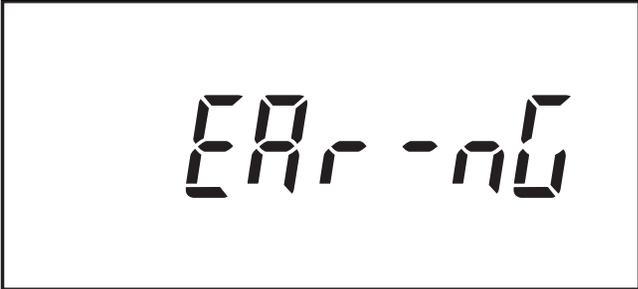


参考

キーロック中でも「電源/音量ツマミ」や「PTT」キー操作はできます。

## イヤホン断線検知

別売のイヤホンマイクなどを接続して電源を入れた時に、イヤホンが断線していないか自動で検知します。断線を検知すると約10秒間ディスプレイ点滅表示と早い周期でランプが赤緑交互点灯します。初期設定ではオンです。後述のセットモード (P.40) でこの動作を切替えることができます。



## スキャン

自動的にチャンネルを切替えて通話しているチャンネルを探索する機能です。交互通話専用で通常モードとメモリーモード両方で使用できます。

### ● 開始

待受で「▼」キーと「▲」キーを同時に約2秒間長押しするとスキャンを開始します。受信した信号でチャンネルが止まりますが、信号がなくなると約2秒後に自動的に再開します。スキャン実行中は各種モードに入れません。

### ● 停止

スキャン実行中に開始の操作または、「PTT」キーを押すとスキャンを停止します。



参考

- ・受信を切替える仕様上、バッテリーセーブが強制的にオフになりバッテリー消費が大きくなります。
- ・スキャン中に電源を切り、再度起動するとスキャン開始から始まります。

## ノイズキャンセラー

マイクに向かって話した音声以外のノイズを除去して音声の明瞭度を上げる機能です。初期設定では動作がオフです。後述のセットモード (P.41) でこの動作を切替えることができます。

注意

- ・音声の周波数を通過させ、それ以外は除去するタイプのノイズキャンセラーです。
- ・本機能をオンにすると、音声は若干変化します。音楽やチャイムは正しい音に聞こえません。
- ・突発的な物音などはノイズキャンセルできません。
- ・音声周波数をフィルターする原理上、騒音が多い場所では送受信音声小さくなったり、少ない場所では歪んだり、ハウリングが発生したりすることがあります。そのようなときはオフにしてお使いください。

# ..... ACSH (アクシュ) .....

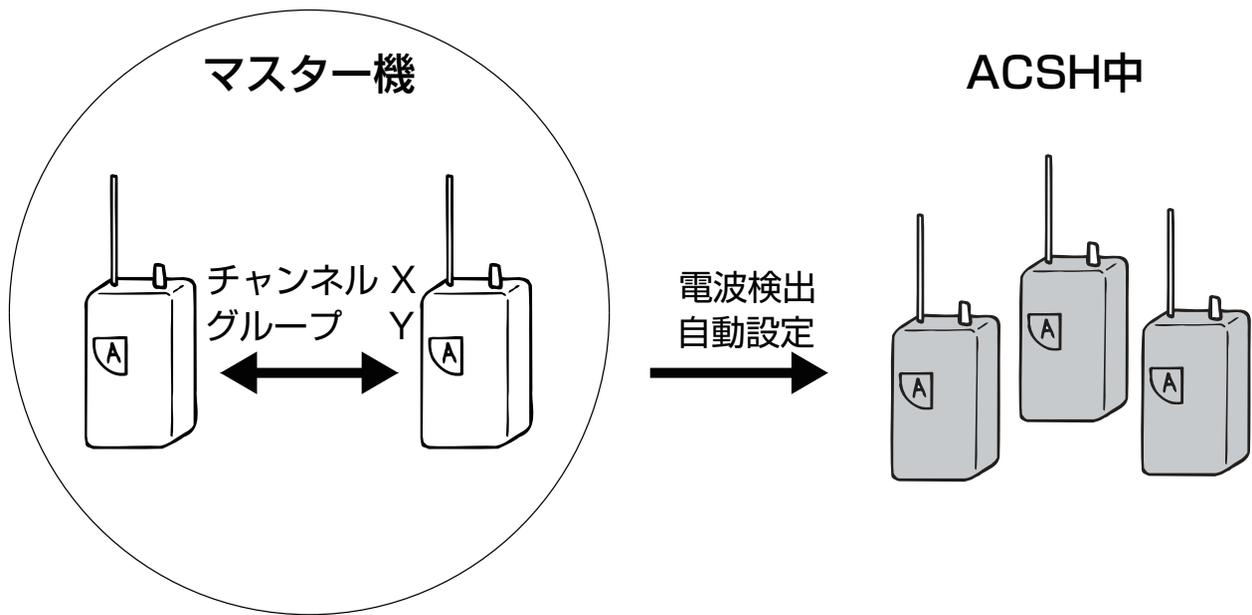
すでに使用している無線機（交互通話は他社製も含む）のチャンネルとグループ番号をスキャンして、本機に同じ内容を自動設定する機能です。交互通話・2者間同時通話・3者間同時通話に対応しており、あらかじめ通話モードを設定したマスター機と本機が必要です。2・3者間同時通話時は弊社製品のみに対応します。マスター機は2者間同時通話の場合は、発呼者、3者間同時通話の場合は、親機のものを使用してください。本機能で設定する際は、Bluetoothアクセサリが使用できません。

\*フリーチャンネル2者/3者間同時通話（P.16, P.18）のマスター機を使用されると正常に設定できません。

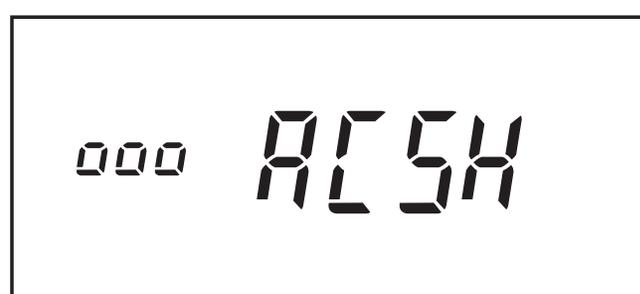
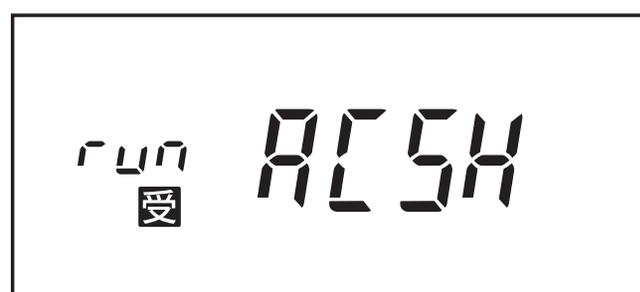
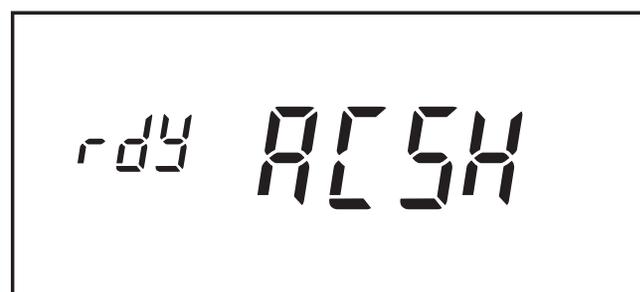
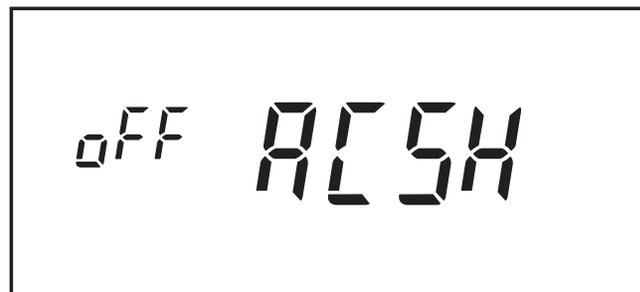
**重要**

- ・自動設定中は電源を切らないでください。自動設定せずに停止します。
- ・本機が電波を検出しているときは、マスター機のマイクから音声が入らないようにご注意ください。電波が乱されて正常に判定できないことがあります。
- ・2・3者間同時通話の場合でも、送信する無線機は1台です。最初に送信した人がマスター機となります。複数台で送信しないでください。
- ・グループ番号の検出中にトーン周波数が近いものは動作が不安定になったり、誤判定することがあります。（例：01番：67Hz、39番：69.3Hz）  
その場合グループ番号を01番～38番の範囲に設定してからご使用ください。
- ・自動設定後はキーロックがオンします。手動でチャンネルやグループ番号を変更したい場合は、キーロック（P.29）をオフにします。

## ■ 交互通話・2者間同時通話・3者間同時通話のとき \*フリーチャンネル2者/3者間同時通話は除く



- ① マスター機と任意の本機を用意します。誤判定を防ぐために近距離で作業してください。
- ② 本機の電源を切ります。
- ③ 「SET」キーを押し続けながら電源を入れます。「OFF ACSH」と表示されます。
- \* 「PTT」キーを押すとACSH（アクシュ）モードにならずに通常の待受けに戻ります。
- ④ 「▲」キーを押して「on ACSH」にします。「PTT」キーを押すと「rdy ACSH」と表示されます。
- ⑤ 表示後、マスター機を送信します。
- ⑥ 数秒から最長で2分程度待ちます。マスター機の電波を検知すると「ピピ」音とともにランプが青色点滅し「run ACSH」と表示されます。
- ⑦ 設定が終わると「ブルル」音とともに、ランプが緑色点滅し、自動的に再起動します。その後通話確認します。

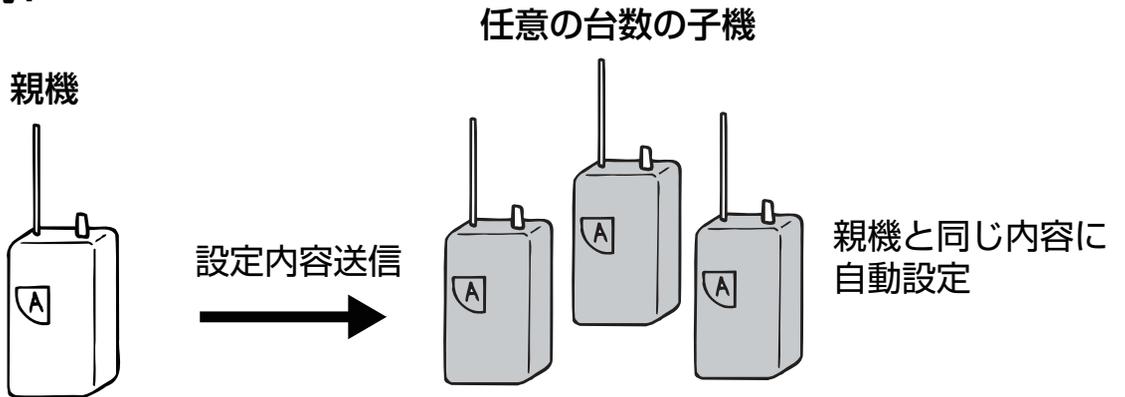


# ..... エアクローン .....

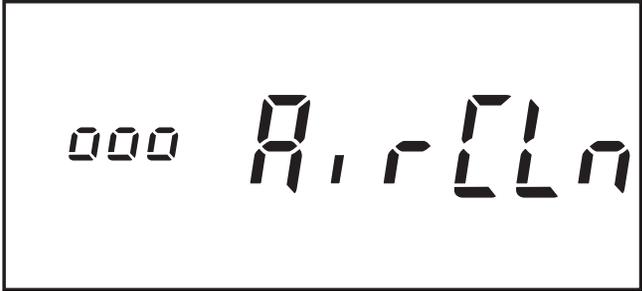
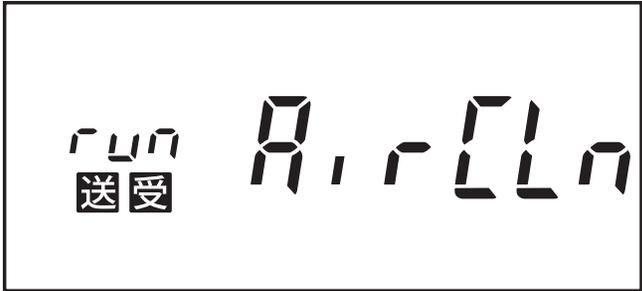
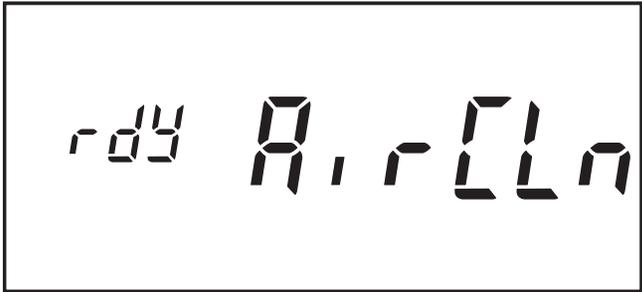
セットモード項目 (P.30) も含めて全て設定済みの本機を親機として、状態が異なる別の DJ-P400 に親機の設定内容を送信し、自動設定する機能です。異なる機種やBluetoothのペアリング情報はクローンできません。親機の近くに集めておけば、複数の子機を一度にクローンできます。本機能で設定する際は、Bluetoothアクセサリが使用できません。

**重要** ・自動設定中は電源を切らないでください。自動設定せずに停止します。  
 ・自動設定後はキーロックがオンします。手動でチャンネルやグループ番号を変更したい場合はキーロック (P.29) をオフにします。

## ■ 動作の流れ



- ① 親機と任意の子機を用意します。誤判定を防ぐために近距離で作業してください。
- ② 親機と子機の電源を切ります。
- ③ 親機と全ての子機について「SET」と「FUNC」キーを同時に押したまま電源を入れます。「rdy AirCLn」と表示されるまで約7秒間押し続けます。
- ④ 親機と子機とも「rdy AirCLn」表示が出たら親機の「PTT」キーを約2秒間押し続けると「ピピ」音とともにランプが赤色点滅し「run AirCLn」と表示されます。
- ⑤ 設定情報を受信すると「ピピ」音が鳴りランプが青色点滅し「run AirCLn」と表示されます。
- ⑥ 設定が終わると「ブルル」音が鳴り、ランプが緑色点滅し、自動的に再起動します。通話確認して異常が無いことを確かめてください。



# Bluetooth機能

本機は最多8台までの弊社製Bluetooth対応アクセサリを登録できます。複数のアクセサリを登録するときは、正しく動作することを確認しながら1台ずつ個別に行ってください。複数台同時接続はできません。また、他社製のBluetooth対応イヤホン、イヤホンマイク類はペアリングできません。

## Bluetooth 対応イヤホンマイク、スピーカーマイク

本機のBluetooth機能に対応するマイクを使って通話ができます。

- ・ Bluetoothの通信範囲は約10m(目安)です。マイクの電波が本機に届く範囲は通話できるので、無線機の前から離れて動き回ることができます。
- ・ 登録台数が8台を超えるとペアリング情報が古いものから自動で削除されます。
- ・ 下記の機能はBluetoothに接続していると使えません。Bluetoothの設定をオフにしたうえで、有線式のマイクをお使いください。

コールバック (P.37)、受信音ミュートタッチ/ボイス (P.41)  
フリーチャンネルペア接続 (P.16, P.18)

- ・ アクセサリの音量は本機の電源/音量ツマミでも調整できます。適切な音量に合わせてください。
- ・ 有線式オプション接続時は常にイヤホンまたはスピーカー出力がオンとなります。音声を聞きたくない場合は、有線式オプションはお使いにならないでください。

**注意** ・ 本機の音量が極端に小さい、または極端に大きい場合、アクセサリの音量では適切に調整できなくなるため、ご注意ください。  
 ・ 受信中に受信音の大きさが変化することがあります。一定のビープ音や強い信号を受信すると、強弱を一定レベルにして聞きやすくするためです。  
 ・ 一度ペアリングしたアクセサリとはそれ以降毎回ペアリングする必要はありません。  
 ・ 複数台同時接続はできません。また他社製のアクセサリはペアリングできません。

## ペアリング

ペアリングとはマイクなどのBluetooth対応アクセサリ(以下、アクセサリ)と本機をお互いに登録し、接続する操作です。

**重要** ・ 複数のBluetooth機器がある場所では、ペアリングしたいアクセサリを正しく検索できないことがあります。このような時は必要なアクセサリだけになるように、使用していないBluetooth機器の電源をオフにするか、それらの機器から離れてください。  
 ・ リセット(P.29)すると登録されたペアリング情報は全て消え、復元できなくなります。あらためて登録したい機器とペアリングしてください。  
 ・ 8台を超えてペアリングすると、古いペアリング情報は自動で消えます。ペアリング情報が消えたら、再度ペアリングしてください。  
 ・ 操作を始める前に、Bluetoothマイクのバッテリーを充電して電源が切れないう、ご注意ください。イヤホンマイクであれば、イヤホンを耳に装着します。

### 1. 本機をペアリングモードにする

- ① セットモード「Bluetooth」(P.41)で「bLt」を選択し、「▲」キーを押して「on」にします。その後「PTT」キーで確定します。待受画面に「」アイコンが点滅しランプが赤緑交互点灯します。

※ 2台目以降のアクセサリとペアリングする場合、以下をお読みください。

### ● 2台目以降のペアリングモード

- ② 上記①の後に一度電源を切り、「▼」キーと「SET」キーを同時に長押ししながら、電源をオンにします。ランプが赤緑色交互点灯するまで押し続けます。

## 2. アクセサリーをペアリングモードにする

操作の前にアクセサリの取扱説明書もお読みください。

- ① インジケータがオレンジ色に点灯後、緑で早く点滅するまで「電源」ボタンを長押しします。
  - ② 「ペアリング中です」と音声聞こえ、インジケータが緑で早く点滅したら、「電源」ボタンから手をはなします。
- \* 弊社製のアクセサリを初めてご使用になるときは電源をオンするだけで、ペアリングモードになります。
  - \* ペアリングできる無線機が見つからない状態が5分つづくと、電源がオフします。

## 3. 本機とアクセサリをペアリングする

上記の操作で本機とアクセサリが共にペアリングモードになると自動で接続します。接続できたら「」アイコンが点灯します。



参考

ペアリング後の動作について、一度ペアリングしたアクセサリとはそれ以降毎回ペアリングする必要はありません。

下記の条件を満たしている場合は自動で接続します。

- ・本機のBluetooth機能が「on」
- ・本機が待受状態
- ・アクセサリの電源が「オン」

注意

Bluetoothの通信は、周辺機器の影響で通信範囲が著しく変化したり、ペアリングが切断されることがあります。

- ・電子レンジなど
- ・無線LAN
- ・他のBluetooth機器

このような場合は、ほかのワイヤレス通信を停止させたり、電子レンジなどの使用を中止したり、周辺機器との距離をはなすなどしてください。また、Bluetooth機器と本製品の距離をできるだけ近づけると、通信状況が改善することがあります。

## ■ キー操作

アクセサリの「▲/▼」キー操作は、アクセサリの受信音量変更に割り当てられています。後述のセットモード「BTマイク▲/▼キー」(P.42)でチャンネル変更にも割り当てることができます。割り当て以外の操作はできません。

またセットモード「サウンド」(P.37)をGdcかALLにして、待受にて「電源」ボタンを押すことにより現在のチャンネルをガイドします。



参考

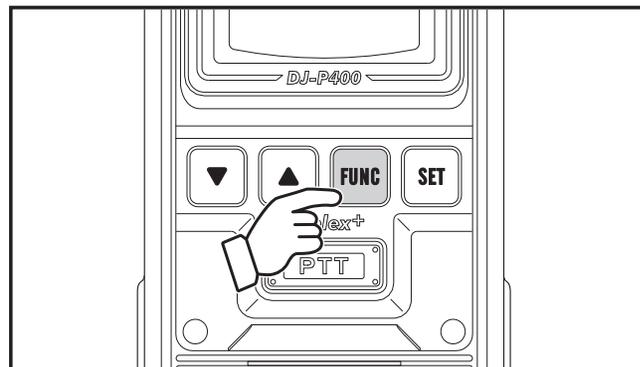
以下の操作は本機のキー操作で行ってください。

- ・設定変更
- ・スキャン
- ・ペアリング接続
- ・モニターモード等

# リセット

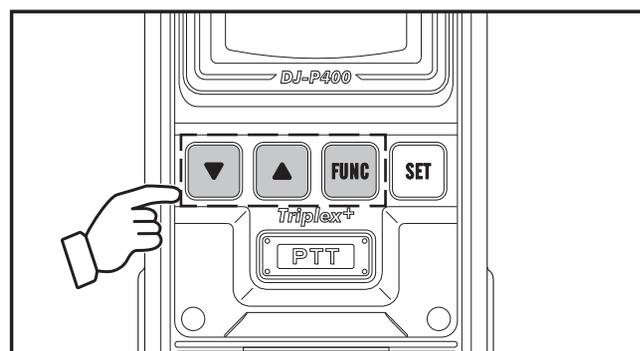
## ■ 簡易リセット

「FUNC」キーを押しながら電源を入れます。ディスプレイが全点灯し基本機能（通話モード、チャンネル、ペアリング、セットモードなど）が初期化されます。



## ■ 工場出荷リセット

「▼」キー、「▲」キー、「FUNC」キーを同時に押しながら電源を入れます。ディスプレイが全点灯し拡張機能も含めた全ての設定が初期化されます。  
※レストア情報は除きます。



# 4 セットモード

## ..... セットモード一覧 .....

No.	項目	初期値
1	コンパクター	At ComPnd
2	秘話設定	oFF ScrblE
3	音声ループ	oFF AFLooP
4	ベル	oFF bEEL
5	バッテリーセーブ	on1bS
6	オートパワーオフ	oFF Apo
7	ランプ (バックライト)	5 LAmP
8	ランプ (LED)	on LEd
9	PTTホールド	At PttHLd
10	送信出力	Pow-At
11	VOX	oFF vo
12	操作音量	3 Sd-vol
13	サウンド	bp Sound
14	エンドピー	oFF EndP
15	コールバック	oFF CALLb
16	ディスプレイ表示	modE
17	スケルチレベル	SqL 3
18	キーロック時間	Loc 2
19	メモリー表示	numbEr
20	音色変更	1 mELody
21	電池電圧参照	bAt 0.00
22	LCD消灯	on Lcd
23	音量レベル変更	EvoL-H
24	イヤホン断線検知	on EAr-C
25	受信音ミュート	oFF r-mutE
26	ノイズキャンセラー	oFF noiSE
27	Bluetooth	oFF bLt
28	ペアリング一覧	* 000-00
29	BTマイク▲/▼キー	voL bLKEy
30	受信音ミュートレベル	4 r-muSn

No.	項目	初期値
31	受信音ミュートディレイタイム	15 r-mudt
32	マイク音量	4 m-Gain
33	秘話周波数	34 Scr-Fq
34	秘話エンファシス	on EmPHA
35	減電池アラーム	oFF bAtt-C
36	減電池スリープ	on bt-SLP
37	グループ設定	ton GrouP
38	トーンマージン	2 mG-ton
39	テールノイズキャンセル	on tAiLnC
40	VOXディレイタイム	1 vod-t
41	再開時間設定	5 duAL-t
42	オプションPTT設定	oFF inSppt
43	チャンネル表示	ALL CHdiSP
44	通話圏内確認	oFF ArEA-C
45	レストア	oFF rESto
46	モニターモード	oFF moni

**注意** グレー反転表示の部分は後述の拡張セットモードにて設定操作すると表示されます。

# 通話モード別機能表

	交互通話	2者間同時通話	3者間同時通話	4者間同時通話	複信中継子機
コンバンダー	○	○	○	○	○
秘話設定	○	○	○	○	○
音声ループ	× (オフ)	○	× (オフ)	× (オフ)	○
ベル	○	○	○	○	○
バッテリーセーブ	○	○	○	○	○
オートパワーオフ	○	○	○	○	○
ランプ (バックライト)	○	○	○	○	○
ランプ (LED)	○	○	○	○	○
PTTホールド	○	○	○	○	○
送信出力	○	○	○	○	○
VOX	○	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)
操作音量	○	○	○	○	○
サウンド	○	○	○	○	○
エンドビー	○	○	○	○	○
コールバック	○	○	○	○	○
ディスプレイ表示	○	△ (FrEq)	△ (FrEq)	△ (FrEq)	△ (FrEq)
スケルチレベル	○	△ (0)	△ (0)	△ (0)	△ (0)
キーロック時間	○	○	○	○	○
メモリー表示	○	○	○	○	○
音色変更	×	○	×	×	○
電池電圧参照	○	○	○	○	○
LCD消灯	○	○	○	○	○
音量レベル変更	○	○	○	○	○
イヤホン断線検知	○	○	○	○	○
受信音ミュート	○	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)
ノイズキャンセラー	○	○	○	○	○
Bluetooth	○	○	○	○	○
ペアリング一覧	○	○	○	○	○
BTマイク▲/▼キー	○	○	○	○	○
受信音ミュートレベル*	○	×	×	×	×
受信音ミュートディレイタイム*	○	×	×	×	×
マイク音量*	○	○	○	○	○
秘話周波数*	○	○	○	○	○
秘話エンファシス*	○	○	○	○	○
減電池アラーム*	○	○	○	○	○
減電池スリープ*	○	○	○	○	○
グループ設定*	○	×	×	×	×
トーンマージン*	○	×	×	×	×
テールノイズキャンセル*	○	×	×	×	×
VOXディレイタイム*	○	×	×	×	×
再開時間設定*	×	×	×	×	×
オプションPTT設定*	○	○	○	○	○
チャンネル表示*	○	○	△ (noL)	△ (noL)	○
通話圏内確認*	○	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)
レストア*	○	○	○	○	○
モニターモード*	○	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)
コールトーン	○	△ (☎)	○	○	△ (☎)
グループトーク	○	○	×	×	○
キーロック	○	○	○	○	○
リセット	○	○	○	○	○
メモリーCH	○	○	○	○	○
メモリースキャン	○	×	×	×	×
スキャン	○	×	×	×	×
ACSH	○	○	○	×	×
エアクローン	○	○	○	○	○

	連続交互通話	連続2者間同時通話	フリーチャンネル 2者同時通話	フリーチャンネル 3者同時通話	デュアル オペレーション
コンパクター	○	○	○	○	○
秘話設定	○	○	○	○	○
音声ループ	× (オフ)	○	○	× (オフ)	× (オフ)
ベル	○	○	○	○	○
バッテリーセーブ	○	○	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)
オートパワーオフ	○	○	○	○	○
ランプ (バックライト)	○	○	○	○	○
ランプ (LED)	○	○	○	○	○
PTTホールド	○	○	○	○	○
送信出力	○	○	○	○	○
VOX	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)
操作音量	○	○	○	○	○
サウンド	○	○	○	○	○
エンドビー	○	○	○	○	○
コールバック	○	○	○	○	○
ディスプレイ表示	△ (FrEq)	△ (FrEq)	△ (FrEq)	△ (FrEq)	○
スケルチレベル	△ (0)	△ (0)	△ (0)	△ (0)	○
キーロック時間	○	○	○	○	○
メモリー表示	○	○	○	○	×
音色変更	×	×	×	×	×
電池電圧参照	○	○	○	○	○
LCD消灯	○	○	○	○	○
音量レベル変更	○	○	○	○	○
イヤホン断線検知	○	○	○	○	○
受信音ミュート	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)
ノイズキャンセラー	○	○	○	○	○
Bluetooth	○	○	○	○	○
ペアリング一覧	○	○	○	○	○
BTマイク▲/▼キー	○	○	○	○	○
受信音ミュートレベル*	×	×	×	×	×
受信音ミュートディレイタイム*	×	×	×	×	×
マイク音量*	○	○	○	○	○
秘話周波数*	○	○	○	○	○
秘話エンファシス*	○	○	○	○	○
減電池アラーム*	○	○	○	○	○
減電池スリープ*	○	○	○	○	○
グループ設定*	×	×	×	×	○
トーンマージン*	×	×	×	×	○
テールノイズキャンセル*	×	×	×	×	○
VOXディレイタイム*	×	×	×	×	×
再開時間設定*	×	×	×	×	○
オプションPTT設定*	○	○	○	○	○
チャンネル表示*	△ (noL)	△ (noL)	○	○	○
通話圏内確認*	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)
レストア*	○	○	○	○	○
モニターモード*	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	○
コールトーン	○	○	○	○	○
グループトーク	×	×	×	×	○
キーロック	○	○	○	○	○
リセット	○	○	○	○	○
メモリーCH	○	○	○	○	○
メモリースキャン	×	×	×	×	○
スキャン	×	×	×	×	○
ACSH	×	×	×	×	×
エアクローン	○	○	○	○	○

- …………… 機能の初期値含め、全ての設定値が使用できます。
  - △（\*）…………… （）内の設定値が使用できません。それ以外の設定値は使用できます。
  - ×（オフ）…………… 該当するモードでは強制的にオフとなり使用できません。
- 例：コールトーン …………… △（☎）電話タイプではコールトーンが使用できません。  
例：受信ミュートレベル※… ※ 拡張セットモードです。

- ・拡張セットモードは無線機管理者向けです。通常セットモードよりも高度な内容で、意味を理解せずに勝手に変更すると通信できなくなる、故障と間違ふような動作をする、などトラブルのもととなります。
- ・拡張セットモードは通常のリセット（P.29）では初期化されません。電源を切り「▼」キー、「▲」キー、「FUNC」キーを同時に押したまま電源を入れるオールリセット（P.29）を行いますが、チャンネルその他の設定も全て初期化されます。
- ・セットモード操作中は、送信ができなくなります。

## …………… セットモード基本操作 ……………

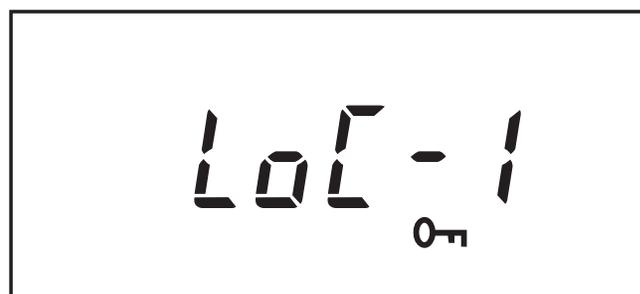
本機をもっと使いやすくするために、各種機能の動作をカスタマイズできます。

### ■ セットモードの設定方法

- ① 待受で「FUNC」キーを押しながら、素早く「SET」キーを押します。
- ② 項目を順序通りに変更するには「SET」キーを押し、逆は「FUNC」キーを押します。
- ③ 設定値の変更は「▼」キーまたは「▲」キーを押します。
- ④ 項目の確定は「PTT」キーを押し、待受に戻ります。

### ■ 拡張セットモードの設定方法

- ① 待受で「FUNC」キーを長押しします。
- ② キーロックがかかりますが、続けて「SET」キーを5回連続で押すと、「ピピ」音とともに拡張セットモードがオンになります。
- ③ セットモードに入ると、設定項目が増えていることを確認します。
- ④ 拡張セットモードをオフにする場合は、同様の操作を繰り返します。



# ..... セットモード項目 .....

セットモードで設定できる機能の内容と、設定値の一覧です。

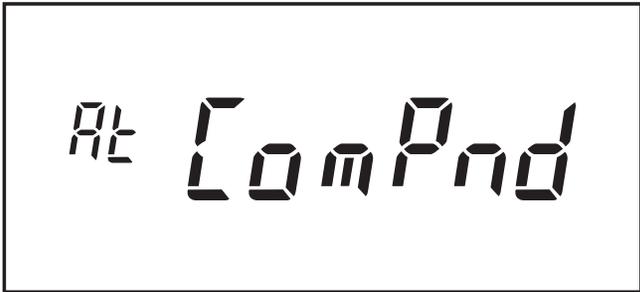
\* マークが付いているのは拡張セットモードの項目です。

\*\* マークが付いているのはBluetooth に対応していない項目です。

## ● No.1 コンパnder

通話中に聞こえるバックノイズを低減できます。同時通話に特化した本機では設定を変える必要はありません。初期値は At です。初期値だと同時通話の各モードでは自動的にオンします。

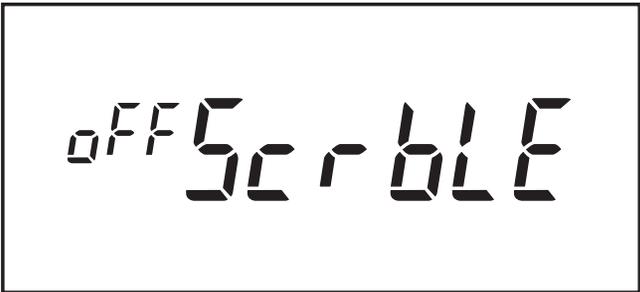
oFF/ on/ At (自動)



## ● No.2 秘話設定

設定すると他の人には通話内容が聞かれにくくなります。セキュリティとしては低いものです。秘話の仕様上、若干音質が変わり明瞭度も下がります。特に聞かれて困らない通話内容であれば初期値オフのままをお勧めします。

oFF/ on



## ● No.3 音声ループ (2者間同時・複信中継子機通話専用)

設定することで、第3者が通話を聞けるようになります。また3者・4者間同時通話は設定しなくても同じチャンネルグループにすれば全員の通話が聞こえます。初期値はオフです。

oFF/ on

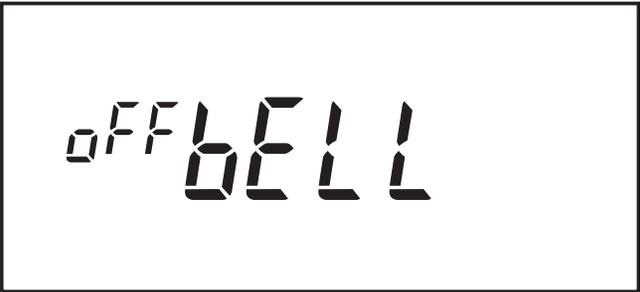


**注意** 複信中継子機通話では片方の無線機のみ設定してください。両方の無線機に設定すると特性上、ハウリングを起こしてしまいます。

## ● No.4 ベル (交互通話向け)

着信をベル音とアイコンでお知らせします。通話中は鳴りません。しばらく待受けが続くと動作を再開します。初期値はオフです。

oFF/ on

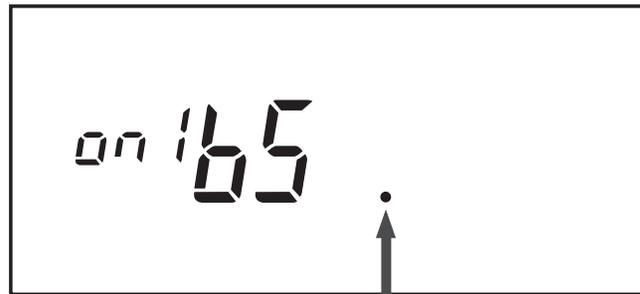


**注意** 通話圏内確認を on にすると通話圏内確認用の信号を受信する関係上、通常の受信信号と区別がつかなくなるため動作しない仕様となっています。

● No.5 バッテリーセーブ (交互通話向け)

待受状態が5秒以上続くと電源を内部で自動的に短いスパンでオン/オフさせて電池の消費を抑える機能です。on2は低消費モード、Ecoはさらに低消費モードです。on2はランプ (バックライト) が消灯します。Ecoはランプ (LED) とディスプレイが点滅します。

oFF/ on1/ on2/ Eco



\*設定値 oFF ではドットが表示します。

注意

- ・同時通話モードは全て、常に送信しているためバッテリーセーブは無効です。
- ・低消費時間が長い on2 と Eco では受信音声が入切れを起こすことがあります。
- ・本機能をオフにすると受信音声の反応は良くなりますが、バッテリーの消耗が早くなります。
- ・以下の条件は強制的に on1 に切替わります。  
VOX、減電池アラーム、通話圏内確認、Bluetooth動作

● No.6 オートパワーオフ (交互通話向け)

電源の切り忘れを防ぐ機能です。無操作と送信停止の状態が設定時間続くと、自動的に電源が切れます。通常はオフのまま使用してください。

oFF/ 30/ 60/ 90/ 120



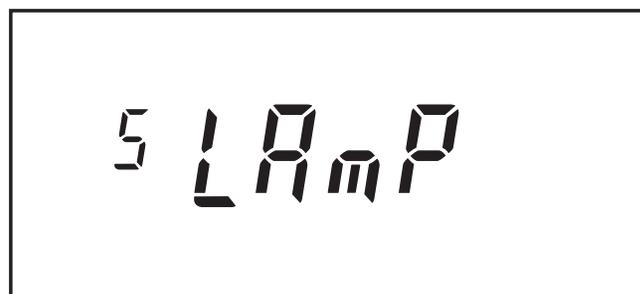
電源が切れるとランプ・ディスプレイが消灯します。保管する場合は電源/音量ツマミを目盛 (●) まで反時計方向に回してください。

参考

● No.7 ランプ (バックライト)

ディスプレイ、キーバックライトの動作を設定します。初期値では約5秒間無操作で消灯します。on だと常時点灯しますがバッテリーの消耗がとて早くなります。

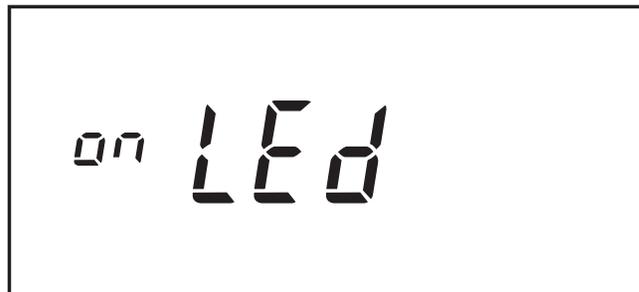
oFF/ 5/ on



● No.8 ランプ (LED)

LEDランプを消灯することができます。光をさえぎる必要がある特殊な用途向けです。通常はオンのまま変えないでください。

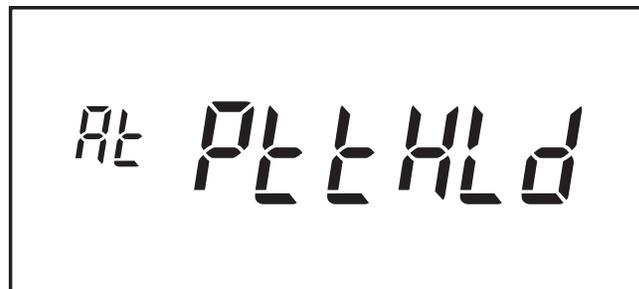
oFF/ on



● No.9 PTTホールド

「PTT」キーを一度押すと送信を継続する機能です。送信解除する際は At だと「PTT」キーを約1秒間長押しします。on だと「PTT」を再度押しします。初期値は At です。初期値だと同時通話での各モードでは自動的にオンにします。

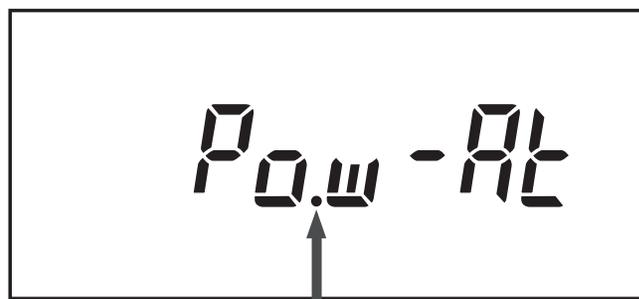
oFF/ on/ At (自動)



● No.10 送信出力

送信出力を設定できます。初期値はAt です。通話モードに合わせて送信出力が自動で切替わります。Hi にすると3分に一回、2秒間タイムアウトするため、同時通話などで連続送信ができなくなります。通常は At のまま使用してください。

Lo/ Hi/ At (自動)



\* 設定値 Lo ではドットが表示します。



At・Lo 設定時のbチャンネルはタイムアウト制限がない連続通話ができます。

参考

● No.11 VOX (交互通話専用)

「PTT」キーを押さずに、外部マイクに向かって話すと、自動的に送信する機能です。大きい声で話す場合は Lo、小さい声で話す場合は Hi に設定してください。初期値はオフです。

oFF/ Lo/ Hi

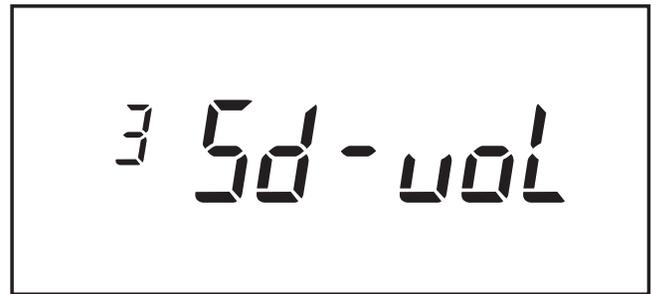


**注意** オプションPTT設定 ALL (本体マイク：有効) に設定し、本体マイクに向かって話してもVOX動作しません。

● No.12 操作音量

本機の通話の音量と操作ビープ音量は連動しません。音量は 6 段階で設定できます。初期値は3です。

0 ~ 5



● No.13 サウンド

bP は操作ビープ音のみ、Gdc は音声ガイド、ALL はビープと音声ガイドの両方が聞こえます。オフは音が鳴らないため特殊な用途向けです。初期値はbPです。

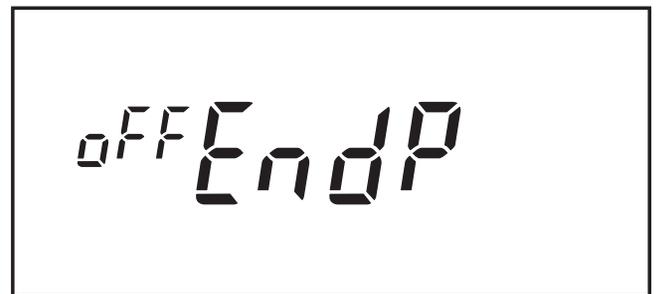
oFF/ bP/ Gdc/ ALL



● No.14 エンドピー

「PTT」キーを押してから放したときに「ピッ」音が鳴り送信が終わったことを相手にお知らせする機能です。送信側で設定してください。エンドピピにすると、受信終了時に信号レベルに合わせてビープ音が鳴ります。ビープ音は3段階あり強（ピッ）中（ピピッ）弱（ピピピッ）と鳴ります。受信側で設定してください。初期値はオフです。

oFF/ on/ PP



● No.15 コールバック\*\*

送信中にイヤホンから自分の送信音声がかえってくる機能です。正しく送信できているか確認しながら通話できます。コールバックの音量は本機の音量ツマミで調整できます。初期値はオフです。

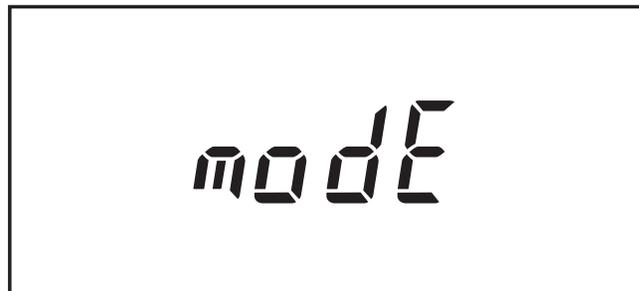
oFF/ on



### ● No.16 ディスプレイ表示

通話モード番号の代わりに他の情報を表示させることができます。初期値は mode です。

- modE : 通話モード番号を表示
- SmEtEr : S/RF メーター表示 (縦棒5段階表示)
- Cntdn : 通信制限残り時間表示 (\*\*\*)秒)
- FrEq : 周波数を MHz 単位で表示



- ・設定値 FrEq では一部の通話モードで機能制限 (周波数表示なし) されています。
- ・設定値 Cntdn では送信時に通信制限残り時間が表示されます。また時間表示中に受信すると時間表示が継続します。



modE 表記



SmEtEr 表記



Cntdn 表記



FrEq 表記



FrEq 表記 (ton トーンスケルチ 1)



FrEq 表記 (Cd2 デジタルコードスケルチ 108波)

### ● No.17 スケルチレベル

スケルチのレベルを 0～5 の範囲で調整します。大きくし過ぎるとノイズなどでスケルチが開くことが減る分、弱い信号は聞こえなくなります。通常は 3 のままお使いください。

0～5

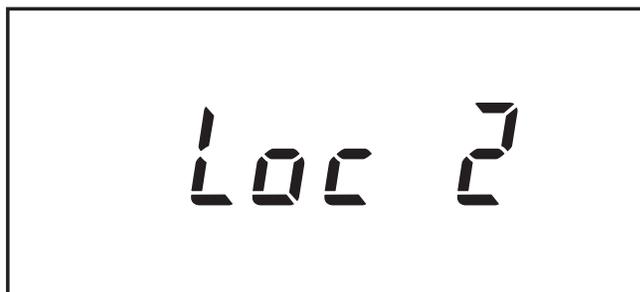


- ・設定値 0 ではディスプレイの「受」が表示され、スケルチ開放で「ザー音」が聞こえます。
- ・グループトーク機能時やあらかじめプリセット（チャンネル・グループ）されている通話モードは「ザー音」が聞こえません。
- ・モニターモード中は設定値 0 にすることができません。

### ● No.18 キーロック時間

待受けからキーロックする時間を調整できます。通常は 2 のままお使いください。

1～3（秒）



### ● No.19 メモリー表示

メモリーモードの表示方法を変更する機能です。

number : メモリー番号表示

mode : モード番号表示

no-mode : メモリー/モード番号の同時表示



メモリーモード中ディスプレイ表示 FrEq 設定していると周波数表示が優先されます。



number 表記



mode 表記



no-mode 表記

### ● No.20 音色変更 (2者間同時・複信中継子機通話専用)

電話タイプの呼出音を3種類の中から変更できます。初期値は1です。

1 ~ 3



### ● No.21 電池電圧参照

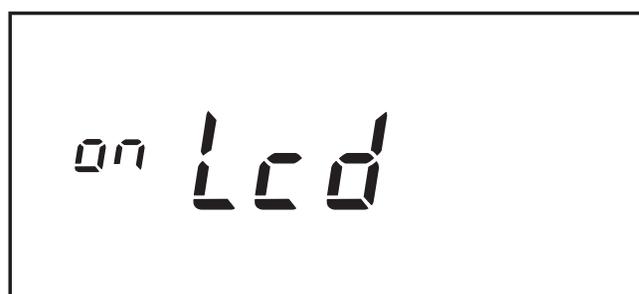
バッテリーの電圧を表示します。表示は目安で個体のばらつきもあります。電池が切れるときの数値を覚えておくと、より精度の高い減電池表示として使えます。右記は例です。



### ● No.22 LCD消灯

送信時または受信時にディスプレイ表示を消灯する機能です。待受時は表示が点灯します。液晶が発するノイズが原因で送受信音に雑音が入ることがあり、オフにするとノイズ対策に有効な場合があります。初期値はオンです。

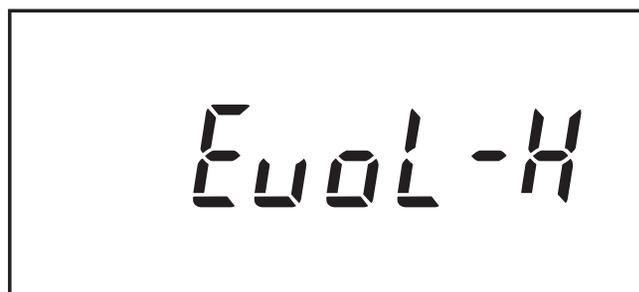
oFF/ on



### ● No.23 音量レベル変更

イヤホンからの音が大きすぎるときはLにします。調整できる音量レベルを全体に低くします。初期値はHです。

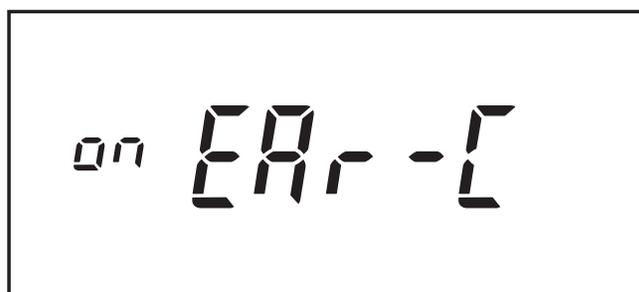
L/ H



### ● No.24 イヤホン断線検知

外部機器への接続などで検知機能が障害になるときだけオフにします。イヤホンやマイクアクセサリをお使いの時はこの設定を変える必要はありません。初期値はオンです。

oFF/ on



### ● No.25 受信音ミュート（交互通話専用）

有線式イヤホンマイク装着時にワンタッチまたは自分の声で受信音をミュートする（音量1に下げる）機能です。ミュート解除後はもとの音量に戻ります。自動で戻すこともできます。初期値はオフです。



Hnd : 外部「PTT」キーを短く押すとミュートします。もう一度押すと解除できます。

tch\*\* : 外部マイクを軽くたたくとミュートします。もう一度外部マイクを軽くたたくと解除できます。

vo\*\* : 外部マイクに声が入るとミュートします。声が入っている間はミュートを保持し、声がなくなると解除されます。

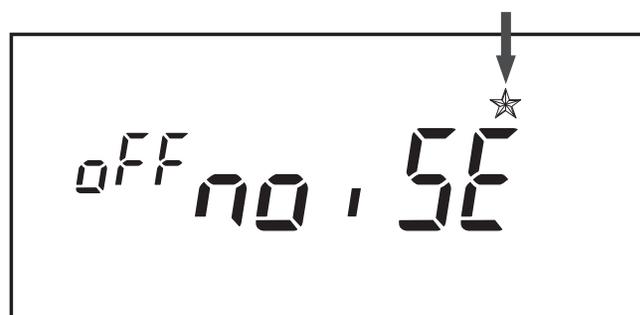
#### 注意

- ・タッチとボイスはバッテリーセーブ機能が働かないため、使用時間が大幅に短くなりますが異常ではありません。一般用途にはハンドをお使いください。
- ・本体マイクや咽喉マイク、他社製オプションには対応しません。またスピーカーマイクやBluetoothアクセサリではタッチとボイスは動作しません。
- ・受信音ミュートはVOX（P.36）、PTTホールド（P.36）設定中は使用できません。
- ・ミュート状態で何かのキーを押すとミュートが解除されます。
- ・ハンドとタッチではミュート解除忘れを防ぐため、一定時間が経つと自動的にミュートが解除されます。
- ・ハンド設定時は送信開始までに遅延が起るため、音声の始めが途切れる場合があります。「了解です、～」や「はい、～」など、途切れても支障がないような言葉から話し始めると話しやすくなります。
- ・ボイスは音声以外で動作してしまうような騒音の大きい場所では、使用できません。

\*設定値 on では★が表示します。

### ● No.26 ノイズキャンセラー

マイクに向かって話した音声以外のノイズを除去して音声の明瞭度を上げる機能です。オンにするとバッテリー消費が増えます。通話モードや他の機能との組み合わせによっては通話時間が1～2時間短くなることがあります。初期値はオフです。



off/ on

### ● No.27 Bluetooth

弊社製 Bluetooth 対応アクセサリと接続できます。オンにするとバッテリー消費が増えます。通話モードや他の機能との組み合わせによっては通話時間が1～2時間短くなることがあります。初期値はオフです。



off/ on

### ● No.28 ペアリング一覧

Bluetooth をオンにすると、過去にペアリングしたアクセサリ名が表示されます。すでにペアリング済みの中から別のアクセサリへ接続 / 削除したい場合は、まずペアリング一覧からアクセサリ名を「▼」キーと「▲」キーで選択します。

#### 接続

選択後に「▼」キーと「▲」キーを同時に約2秒間押し続けると接続を開始します。ディスプレイに「ConECt」が点滅します。

#### 削除

選択後に「FUNC」キーと「SET」キーを同時に約2秒間押し続けると削除します。ディスプレイに「Erase」が表示します。



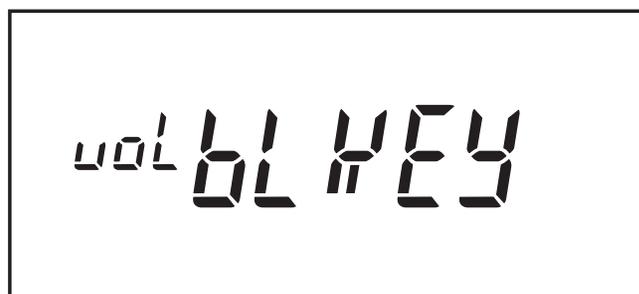
参考

接続開始後、接続先が見当たらない場合は一定時間経過後にペアリング一覧へ戻ります。

### ● No.29 BTマイク▲/▼キー

弊社製 Bluetooth 対応アクセサリの「▲ / ▼」キーの割り当てを設定できます。初期値はvol (音量変更) です。

vol (音量変更) / ch (チャンネル変更)



### ● No.30 受信音ミュートレベル\* (交互通話専用)

受信音ミュートのタッチ、またはボイスを使用時のマイク感度レベルを変更できます。ミュートが利きにくい場合は設定値を大きく、ミュートが利きやすい場合は設定値を小さくします。初期値は 4 です。

1 ~ 7



### ● No.31 受信音ミュートディレイタイム\* (交互通話専用)

ミュートの保持時間を変更できます。ハンドとタッチではミュートの解除忘れを防ぐための時間設定です。設定時間になると自動的に解除されます。ミュート状態の保持時間を延ばすときは、設定時間を長くします。ボイスでは息継ぎしても解除しないようにするための時間設定です。ミュートの切り替えを素早くしたいときは短めに設定すると使い勝手が向上しますが、息継ぎでも解除されることがあります。



ハンド/タッチ

5 / 10 / 15 / 30 / 60 (秒) 初期値 15秒

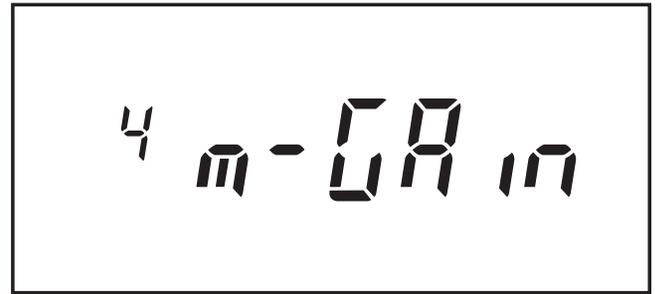
ボイス

1 / 2 / 3 / 4 / 5 (秒) 初期値 3秒

● No.32 マイク音量\* (マイクゲイン)

相手に聞こえる声が小さいとき (5 以上) や話し声が歪むとき (3 以下) に調整します。通常は 4 のままお使いください。

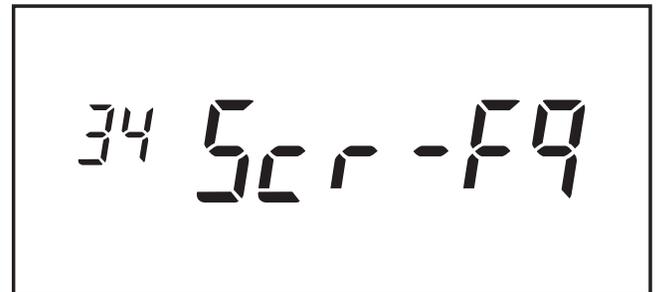
1 ~ 7



● No.33 秘話周波数\*

通話したいグループ全員同じ周波数に設定します。初期値は3.4kHz です。

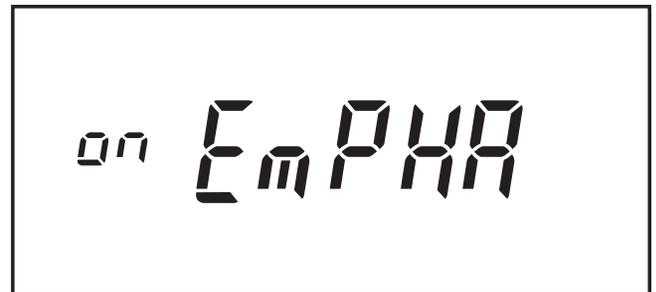
2.7 ~ 3.4kHz (0.1kHz ステップ)



● No.34 秘話エンファシス\*

弊社の秘話搭載特定小電力無線機や他社製の秘話搭載特定小電力無線機の秘話は機種によって通話の相性があり、音声聞き取りづらい場合があります。聞き取りづらいつと感じたときオフにすることで改善される場合がありますのでお試しください。初期値はオンです。

oFF/ on



● No.35 減電池アラーム\*

減電池時、ランプが早い周期で青色点滅し、バッテリーアイコンも点滅します。加えてこの設定をすると、バッテリーを充電・交換するまで設定した間隔でピープ音を鳴らして注意を促します。初期値はオフです。

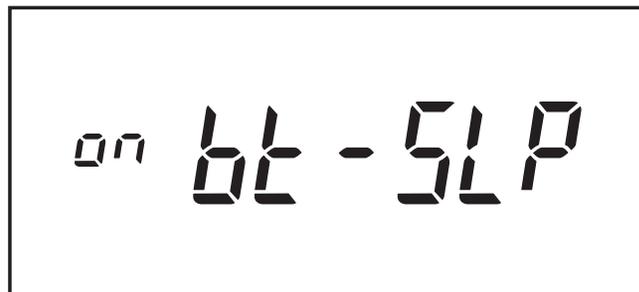
oFF/ 5/ 10/ 20/ 30/ 40/ 50/ 60 (秒)



● No.36 減電池スリープ\*

バッテリーの電圧が一定レベルまで下がると自動的に電源を切り、過放電を防ぐ機能です。初期値はオンです。

oFF/ on



参考

- ・設定値がオフの場合でもバッテリーの電圧が一定レベルまで下がると誤動作防止のため、自動的に電源を切ります。
- ・電源が切れるとランプ・ディスプレイが消灯します。保管する場合は電源/音量つまみを目盛(●)まで反時計方向に回してください。

● No.37 グループ設定\*

(交互通話・デュアルオペレーション専用)

本機のグループトーク機能は以下の3つから設定できます。番号変更については、「2. 通信方法 グループトーク機能」をお読みください。初期値は ton (トーン) です。

- ・ ton (トーンスケルチ 1 ~ 50)
- ・ Cd1 (デジタルコードスケルチ 83波)
- ・ Cd2 (デジタルコードスケルチ 108波)

ton/ Cd1/ Cd2

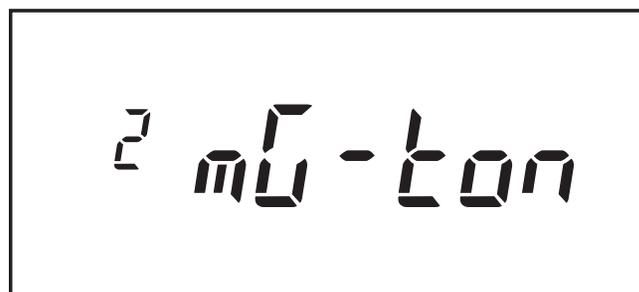


● No.38 トーンマージン\*

(交互通話・デュアルオペレーション専用)

グループトーク機能の信号の読み取り精度を調整できます。弊社製の旧型機や他社製品とグループトークでの通話が不安定な場合、お試しください。数字が大きいほど精度がゆるくなります。通常は 2 のままお使いください。

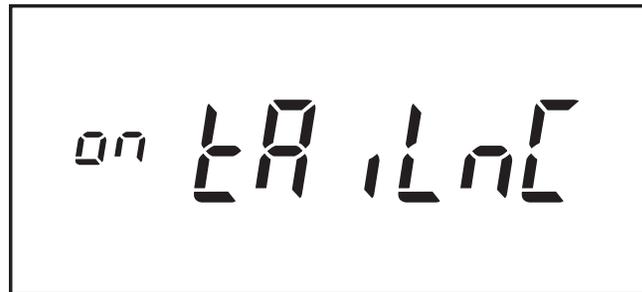
1 ~ 5



● No.39 テールノイズキャンセラー\*  
(交互通話・デュアルオペレーション専用)

本機はグループトーク機能を入れていなくても通話終了時に受信側から聞こえる「ザツ」を除去する機能が入っています。本機能は送信側と受信側の両方で有効にしたときのみ動作します。初期値はオンです。

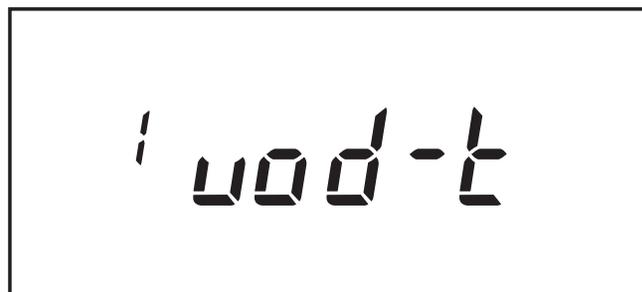
oFF/ on



● No.40 VOXディレイタイム\*  
(交互通話専用)

VOX で送信中に息継ぎなどで声が途切れても送信状態を保持する時間を設定できます。初期値は1秒です。

1 ~ 3 (秒)



● No.41 再開時間設定\*  
(デュアルオペレーション専用)

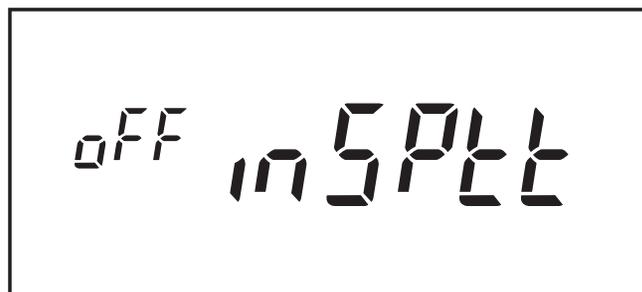
受信終了後に動作再開するまでの時間を設定します。初期値は5秒です。

1 ~ 5 (秒)



● No.42 オプションPTT設定\*

有線オプション接続時に本体 PTT と本体マイクの有効/無効を選べます。使用するオプションに合わせて設定してください。初期値はオフです。



- oFF : 本体 PTT 無効 / マイク 無効 (オプション PTT 有効 / マイク 有効)
- out : 本体 PTT 有効 / マイク 無効 (PTT両方 有効 / オプションマイク 有効)
- ALL : 本体 PTT 有効 / マイク 有効 (イヤホン接続時の設定)



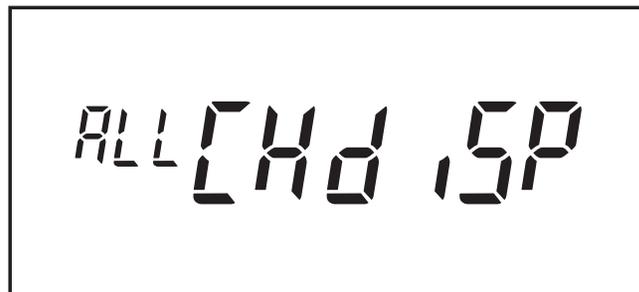
参考

・有線式オプションを接続していない場合は、本体 PTT と本体マイクが有効となります。  
・Bluetoothアクセサリ使用時に有線式オプションを接続していない場合は、本体 PTT 有効 / 本体マイクが無効となります。

### ● No.43 チャンネル表示\*

本機のチャンネルは L01～L09、b01～b11 と表示されます。noL に変更すると他社製の 01～20 方式に変更することができます。オフにすると表示が「—」となります。設定内容を隠せます。初期値は ALL (弊社表示)

oFF/ noL/ ALL

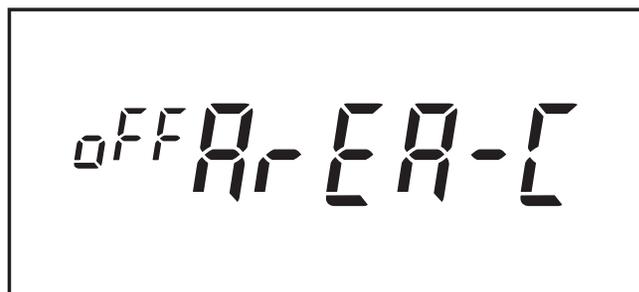


**注意** あらかじめプリセット (チャンネル・グループ) されている通話モードでは noL 機能が制限されています。詳細は「通話モード別機能表」をお読みください。

### ● No.44 通話圏内確認\* (交互通話専用)

グループトーク中に相手との通話が可能かどうかの目安を表示することができます。初期値はオフです。

oFF/ on



通話したいグループ全員の通話圏内確認をオンにして同じグループ番号にしてください。

約1分毎に一瞬ですが通話が可能か確認をす

るので、そのタイミングが別のユーザーのチェック動作と重なると正しく判断できなくなります。これを防ぐため、この機能を使うときは電源を入れるタイミングを全員少しずらしてください。また3人以上のグループで使用する際は、圏内判定が正確に表示されない場合がありますが、この表示が実際の通話の距離や音質に影響することはありません。

「≡」点滅：圏内に通話できる相手が居るか、検索しています。

「C」点灯：通話可能かどうか確認するための信号を送っています。

「≡」点灯：信号は強く良好な通話が可能。

「=」点灯：信号は普通、おおむね良好な通話が可能。

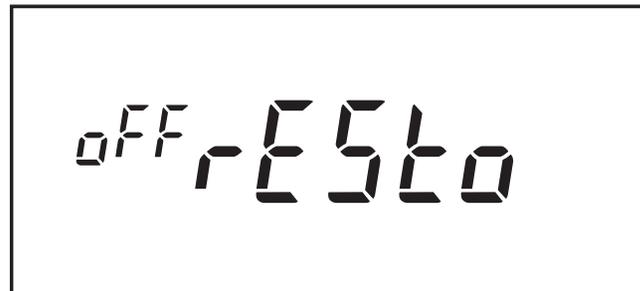
「\_」点灯：通話が可能だが信号は弱く、途切れることがある。

「\_」点滅：相手が離れているか電源が切られているなどで、通話できない。

**注意** 仕様上、メモリーモード中やディスプレイ表示 Freq 設定にすると動作しません。

● No.45 レストア\*

チャンネル情報、メモリー情報、セットモード情報をリセットしても消えないように記憶させ、復元させる機能です。リセット後の面倒な設定やり直しをせずに済みます。初期値はオフです。



SAv : SAv を選択した画面で「FUNC」キーと「SET」キーを同時に約2秒間押し続けると全ての情報が保存され「rSt writE」を表示します。新しい設定を記憶するときはこの操作を繰り返せば上書きできます。

Lod : Lod を選択した画面で「FUNC」キーと「SET」キーを同時に約2秒間押し続けると保存した情報を復元します。復元が終わると「rSt rEAd」が表示され、自動的に再起動します。何も保存されていない場合、「rSt nodAtA」が表示され読み出しがキャンセルされます。

dEt : dEt を選択した画面で「FUNC」キーと「SET」キーを同時に約2秒間押し続けると記憶させた情報を消去します。終わると「rSt ErASE」が表示されます。完全に工場出荷状態まで戻す時は、消去してからリセット (P.29) してください。

**注意** Bluetooth ペアリング情報は記憶、復元できません。

● No.46 モニターモード\*

(交互通話・デュアルオペレーション専用)

待受で「▼」キーと「▲」キーを同時に押すとディスプレイの「受」が表示され、スケルチを開放して「ザー」音が聞こえます。受信状態のチェックなど管理者向けの機能です。初期値はオフです。通常はオフのまま使用してください。



oFF/ on

# 5

## イヤホンユーザー

### ■ 拡張セットモード – オプションPTT設定

事前に「セットモード基本操作」をお読みいただき、拡張セットモードをオンにしてください。イヤホンのみで運用する場合、拡張セットモード「オプションPTT設定」(P.45)をALLにすることで本体 PTT 有効 / 本体マイク が有効となります。



ALL in SPkt

- oFF : 本体 PTT 無効 / マイク 無効 (オプション PTT 有効 / マイク 有効)
- out : 本体 PTT 有効 / マイク 無効 (PTT両方 有効 / オプションマイク 有効)
- ALL : 本体 PTT 有効 / マイク 有効 (イヤホン接続時の設定)

- 仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
- 本書の説明用イラストは、実物とは状態や形状が異なる、一部の表示を省略している、等の場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。

## **アルインコ株式会社** 電子事業部

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888  
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10番19号サンエイビル4階 TEL.052-212-0541  
大阪支店 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋4丁目4番9号淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361  
福岡営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号エコビル2階 TEL.092-473-8034

### アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイヤル  0120-464-007

全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。

受付時間 / 10:00 ~ 17:00 月曜~金曜 (祝祭日及び 12:00 ~ 13:00 は除きます)

ホームページ <https://www.alinco.co.jp/> 「電子事業」をご覧ください。